

令和8年度
学 生 便 覧



FUKUYAMA
DENTAL HYGIENIST
COLLEGE

専門
学校 福山歯科衛生士学校

目 次

校 歌	1	歯科臨床概論	51
1. 沿 革	2	臨床検査	52
2. 教育方針	2	歯科放射線学	53
3. 福山歯科衛生士学校学則	3	保存修復学	54
4. 福山歯科衛生士学校施行細則（抜粋）	5	歯科材料学	55
5. 学年暦	5	齲蝕予防処置	56
6. 学生心得	6	予防的歯石除去法Ⅰ・予防的歯石除去法実習Ⅰ	57
7. 試験について	7	歯科保健指導Ⅰ・実習Ⅰ	58
8. 気象警報が発令された場合の対応	7	診療補助Ⅰ・実習Ⅰ	59
9. 図書利用規定	8	看護学	60
10. 自動車・バイク通学について	8	手 話	61
11. 授業科目及び授業時間数（学年別）	9	現代マナー（接遇）	62
12. インターネットでのコミュニティサイトや動画投稿サイト などの利用について	11	15. シラバスー2年生	
13. 証明書・諸届け一覧表	12	公衆衛生学	63
14. シラバスー1年生		衛生統計学	64
社 会 学	26	衛生行政・社会福祉	65
心 理 学	27	倫 理 学	66
生 物 学	28	歯内療法学	67
化 学	29	歯周療法学	68
英 語	30	歯科補綴学	69
哲 学	31	口腔外科学	70
食生活概論	32	小児歯科学	71
保健体育	33	歯科矯正学	72
解剖学	34	障がい者歯科学	73
生理学	35	高齢者歯科学	74
生 化 学	36	予防的歯石除去法Ⅱ・予防的歯石除去法実習Ⅱ	75
口腔解剖学	37	歯科保健指導Ⅱ・実習Ⅱ	76
歯牙解剖学	38	診療補助Ⅱ・実習Ⅱ	77
歯の解剖（スケッチ・カービング）	39	医療保険事務	78
口腔生理学	40	介護技術	79
組織発生学	41	16. シラバスー3年生	
病 理 学	42	隣接医学	80
口腔病理学	43	予防的歯石除去法Ⅲ	81
薬 理 学	44	歯科保健指導Ⅲ	82
微生物学	45	診療補助Ⅲ・実習Ⅲ	83
口腔衛生学Ⅰ	46	院内感染・救急処置	84
口腔衛生学Ⅱ	47	社会保険	85
衛 生 学	48	歯科総合	86
栄 養 学	49	生 花	87
歯科衛生士概論	50	17. シラバスー1～3年生	
		一般教養	88
		18. 時 間 割	89

歯科衛生士の誓い

私たちは、将来歯科衛生士として歯科医師を助け、歯科疾患の予防ならびに口腔衛生の向上のために、その任務を忠実に尽くします。ここに臨床の場にのぞむに当り、次のことを誓います。

1. 常に自分の最善の力を尽くし、歯科衛生の向上につとめます
2. 技術のみがき、知識を吸収することにつとめます
3. 常に勇気を持って自分の学んだことを実行します
4. 公共の場では調和を守り、十分な共同のもとに仕事をすすめます
5. 診療の機会に見聞した患者の秘密を守ります

1. 沿 革

本校は、昭和46年10月20日に社団法人福山市歯科医師会により、福山市御門町1丁目1番30号に福山歯科衛生士学院として1年制で設立され、翌年2月8日付で厚生大臣より指定を受け、続いて2月14日付で各種学校県知事認可を受け、昭和48年3月はじめて第1回卒業生を送り出しました。

昭和55年4月に福山市南蔵王町6丁目19番34号に移転し、又昭和56年4月より専修学校に昇格し、校名も福山歯科衛生士専門学校と変更し、修業年限は2年制となりました。

平成17年4月に厚生労働省より3年制移行の通達が出され、平成18年4月より校名を福山歯科衛生士学校と変更し、修業年限は3年制となりました。同年、広島高等歯科衛生士専門学校と姉妹校提携を行いました。

又、その間卒業生は2,453名を数え、これらの卒業生は、歯科衛生士国家試験に合格し、歯科衛生士として、各方面において立派に活躍しております。

2. 教 育 方 針

歯科衛生士は、歯科医師と共に国民の口腔衛生の向上と社会福祉に寄与する専門職としての責任を持っています。本校は歯科衛生士法に基づき、優れた人格見識を持った有能な歯科衛生士の養成を目的として設立されました。豊富な講師陣による3年間の教育により、歯科衛生士としての専門知識はもとより、社会人としての幅広い教養と、豊かな人格の形成を図ることを教育理念としております。

いかなる立場にあっても職務を全うできる歯科衛生士を養成するため、次の5つの能力に重点を置いた教育を目指しています。

1. 歯科診療の場で、診療補助業務が十分できる能力
2. 口腔衛生実技に熟達し、その技量を十分に発揮し責任を全うできる能力
3. 臨床の場で、患者に歯科保健指導が十分にできる能力
4. 公衆歯科衛生の場において、現場活動が十分にできる能力
5. 常に医療人としての倫理に基づいた行動ができる能力

3. 福山歯科衛生士学校 学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、教育基本法及び学校基本法に従い、歯科衛生に関する専門的な知識及び技能を授け、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成することを目的とする。

(名称)

第2条 本校は、専門学校福山歯科衛生士学校という。

(位置)

第3条 本校の位置を、広島県福山市南蔵王町6丁目19番34号に置く。

第2章 課程、学科、修業年限及び定員等

(課程等)

第4条 本校の課程、学科、修業年限並びに定員等は、次のとおりとする。

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	学級数	備考
医療専門	歯科衛生科	3年	80名	150名	3	昼間のみ

第3章 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

第5条 本校の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 本校の学期は次のとおりとする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第6条 本校の休業日は次のとおりとする。

1. 土曜日、日曜日
2. 国民の祝日に関する法律に規定する休日
3. 夏期休業7月下旬から8月下旬まで
4. 冬期休業12月下旬から翌年1月上旬まで
5. 春期休業3月下旬から4月上旬まで
6. 開校記念日 10月20日

第4章 入学、退学、転学及び休学等

(入学資格)

第7条 本校の入学資格は、次のとおりとする。
高等学校を卒業した者又は、それと同等以上の学力を有すると認められる者。

(入学時期)

第8条 本校の入学時期は次のとおりとする。

毎年4月

(出願手続)

第9条 入学を希望する者は、本校所定の書類に入学検定料振込証明を貼付して出願しなければならない。

(入学許可)

第10条 入学を希望する者には、選考を行い、入学を許可する。

(入学手続)

第11条 本校に入学を許可された者は、所定の期日までに、入学金を納め、連帯保証人ならびに保証人各1名を定め、誓約書を提出しなければならない。連帯保証人は保護者又は後見人もしくは近親者であって、独立の生計を営むものでなければならない。また、保証人は連帯保証人とは別の生計を営むものでなければならない。

2 前項に定める手続が所定の期日までに行われなるときは、入学の許可を取り消すことがある。

(休学、復学)

第12条 学生が、疾病、その他やむを得ない事由によって、休学する場合は、診断書及びその事由を記した書類を添え、校長の許可を受けなければならない。

2 前項の者が復学しようとする場合は、届け出て、現学年に復学することができる。

3 休学期間中でも授業料を納めなければならない。

(退学)

第13条 学生が退学しようとする時は、事由を明らかにする書類に、連帯保証人連署のうえ、校長の許可を受けなければならない。

(変更の届出)

第14条 学生又は保証人の住所又は、氏名を変更したときは、遅滞なく校長に届け出なければならない。

(転入学)

第15条 他の歯科衛生士学校又は、歯科衛生士養成所に在学するものが、本校に転学を願い出たときは、欠員のある場合に限り、考査のうえ校長が入学を認める。

第5章 教育課程、授業時間数、学習の評価及び卒業等

(教育課程及び授業時間数)

第16条 本校の教育課程及び授業時間数は、別表1のとおりとする。

2 1単位の授業時間数は、講義及び演習については15時間から30時間、実習、実技については30時間、臨地実習については45時間とする。

(始業及び終業)

第17条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。
医療専門課程、歯科衛生科は、午前9時から午後4時15分までとする。

(学習の評価)

第18条 単位修得認定は、講義・実習等に必要時間の取得状況と当該科目の評価により行う。

校長は、本校所定の単位修得の認定を受けた者について、教務会議の議を経て、卒業を認定する。ただし、次の各項の条件を満たさなければならない。

1. 学業成績の評価は、優、良、可、不可の4種類をもって表し、優、良、可を合格とする。

2. 欠席日数が当該学年の授業日数の3分の1をこえるときは、進級又は卒業を認めない。
3. 前期試験、後期試験の成績をもって進級の及落を判定する。学生の在学期間は6ヵ年を限度とする。
4. 欠席日数が当該学年の出席すべき日数の3分の1以内であり、各学科及び実習に係る出席時間数が指定規則に定める時間数に満たない者については、必要な補習を行ったうえ、進級または卒業を認める場合がある。

(証書の授与)

第19条 校長は、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。

第20条 前条により、医療専門過程歯科衛生科を修了した者には専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

第6章 教職員組織

(教職員組織)

第21条 本校に次の教職員を置く。

1. 校長 1名
2. 教員 4名以上
3. 講師 40名以上
4. 助手 1名以上
5. 事務職員 1名以上
6. 学校医 1名

第7章 授業料、入学金、入学検定料、その他の納付金

(授業料等)

第22条 本校の授業料、入学金、入学検定料、その他の納付金は、別表2のとおりとする。

(納入)

第23条 学生はその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料等を所定の期日までに納入しなければならない。

(滞納)

第24条 正当な理由がなく、かつ所定の手続を行わずに授業料等を滞納し、納入の見込がないときは、退学を命ずることがある。

(納入金の不還付)

第25条 既に納入した授業料、入学金、入学検定料その他の納付金は、原則として返還しない。

第8章 賞罰

(褒章)

第26条 学生がその成績、品行ともに優れ、他の模範となるときは、褒賞することがある。

(懲戒処分)

第27条 学生がこの学則、その他本校の定める諸規則を守らずその本分に反する行為のあったときは、懲戒処分を行うことがある。

- 1 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。
- 2 前項の退学者は次の各号の一に該当する学生に対してのみ行うものである。

1. 品行不良で改善の見込がないと認められる者
2. 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
3. 正当な理由がなく出席が常でない者
4. 学校の秩序を乱し、学生として本分に反した者

第9章 雑則

(健康診断)

第28条 健康診断は、毎年1回別に定めるところにより実施する。

(会議)

第29条 重要な事項は、会議により決定する。会議の詳細は別に定める。

(施行細則)

第30条 この学則の施行に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附 則 この学則は、昭和56年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成元年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成3年10月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成6年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成7年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成18年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成20年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成22年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成25年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成26年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成27年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成28年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、平成31年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、令和3年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、令和6年4月1日より施行する。

附 則 この学則は、令和8年4月1日より施行する。

別表1は、9・10ページの授業科目及び授業時間数(学年別)に掲載する。

別表2 (入学検定料を除く)

	1年次 (4月)	2年次 (4月)	3年次 (4月)
入 学 金	200,000		
授 業 料	528,000	492,000	492,000
諸 経 費	350,000	90,000	90,000
計	1,078,000	582,000	582,000

※入学金のみ入学手続時納入

4. 福山歯科衛生士学校施行細則（抜粋）

- 第8条 授業は、次のように実施する。ただし、校長が特に必要があると認めた場合は、これを適宜変更することができる。
- 第1時限 午前9時から午前10時30分まで
 第2時限 午前10時45分から午後12時15分まで
 第3時限 午後1時から午後2時30分まで
 第4時限 午後2時45分から午後4時15分まで
- 第10条 本校の教育内容及び単位数は、別表のとおりとする。
- 第11条 学則第18条に定める学業成績は、次の通りとする。
- 各科目を100点満点として
- | | |
|--------|----|
| 80点以上を | 優 |
| 70点以上を | 良 |
| 60点以上を | 可 |
| 60点未満を | 不可 |
- として、優、良、可を合格とする。
- 試験の成績が不合格の場合、校長は再試験を行うことができる。
 - 病気、その他やむを得ない理由により、受験できなかった学生については校長は追試験を行うことができる。
 - 追再試験は、100点満点で60点以上を合格とする。追試験の評価は点数の80%とし再試験は可とする。
 - 各学年末において、必要単位数を修得できていない場合、学年進級することができない。
- 第12条 本校入学前に、大学・短期大学・専修学校等において単位を修得した科目については、本校が認定すれば既に単位を修得したもの（既修得単位）とみなして、本校での履修を要しない。
- 附則 この細則は昭和56年4月1日から施行する。
 附則 この細則は平成18年4月1日から施行する。
 附則 この細則は平成20年4月1日から施行する。
 附則 この細則は平成28年4月1日から施行する。

5. 学 年 暦

- | | |
|-----|---|
| 4月 | 春期休業、入学式、健康診断、
1年生オリエンテーション、
1・2年生合同オリエンテーション |
| 5月 | 2年生登院実技試験、3年生小学校実習
3年生市民病院実習開始、3年生総合診療実習 |
| 6月 | 1・2年生合同実習、3年生岡大実習、
オープンキャンパス第1回 |
| 7月 | 2年生登院実技試験、合同医院説明会、夏期休業 |
| 8月 | 夏期休業、オープンキャンパス第2回 |
| 9月 | 3年生修学旅行、1・2年生合同実習、
2年生登院筆記試験、1・2年生前期試験 |
| 10月 | 2年生登院式、2年生臨地実習開始、
2年生障がい者歯科診療見学実習開始、
3年生障がい者施設実習、開校記念日、推薦入試 |
| 11月 | 3年生後期試験 |
| 12月 | 一般入試（A日程）、白蔵祭、2年生幼稚園実習、
冬期休業 |
| 1月 | 冬期休業、2年生健康診断、3年生卒業試験、
2年生矯正歯科開始、2年生総合診療実習、
一般入試（B日程） |
| 2月 | 1年生徳島研修旅行、2年生大阪研修旅行、
2年生広大実習開始、2年生進級試験、
1年生後期試験 |
| 3月 | 3年生歯科衛生士国家試験、卒業式、祝賀会、
春期休業、一般入試（C日程）、
オープンキャンパス第3回 |

6. 学 生 心 得

1. 服 装

本校学生として、各自の個性と良識とによって端正清潔を旨とし、華美に流れないようにする。

- 1) 校章は常に左胸につけること
- 2) 学校内では所定のシューズを用いること
- 3) 実習の際は所定の実習衣を着用すること
- 4) 学校では所定の制服を正しく着用すること

2. 身 嗜 み

- 1) 手足の爪は短く切り、マニキュアはつけないこと
- 2) 化粧は清楚で健康的なものであること(華美にならない)
- 3) 髪は、常に清潔にまとめ、頭髪の色は、自然な色であること
- 4) 実習時の身嗜みについては別途指示に従うこと

3. 身分証明書

- 1) 本校では身分証明書を発行している
- 2) 身分証明書番号は学籍番号であり、常に携帯し大切にしなければならない
- 3) 身分証明書を万一紛失又は破損したときは『身分証明書再交付願』と、実費(1,000円)で再交付を受ける
- 4) 学籍を離れた時は直ちに返却しなければならない

4. 出 席 ・ 欠 席

- 1) 講義及び実習における出欠は、各時間毎に出欠状況を日直が記入し、全講義終了後学生日誌と共に教務まで提出する
- 2) 遅刻は始業20分までとし、その後の入室を禁じる
- 3) 早退は定刻前20分以内に退出した者をいう
- 4) 欠課は4回で1日分の欠席とする
- 5) 遅刻・早退は3回をもって1回の欠課とする
- 6) 欠席・遅刻・早退・欠課は所定の用紙にて届出ること
- 7) 学生の近親者が死亡した場合、所定の手続きをとると、下記の日数の間は欠席の取扱いとしない
両親(養父母) 1週間
祖父母・兄弟姉妹 4日間
近親者(三親等まで) 3日間
(所定の手続きとは、保証人連署の忌引届の提出)

5. 公 示 伝 達

- 1) 学生に対する公示伝達は主として、所定の掲示板に掲示する
- 2) 掲示に不明な点があれば、教務に問い合わせること
- 3) 学生が掲示を希望する時は、教務に掲示物を提出し許可の検印を受けた後、所定の場所に掲示すること
(見落としの場合、責任は一切本人にあるので注意すること)

6. 変 更 の 届 出

学生は入学後、住所・氏名を変更した時は、所定の用紙にて届出ること。

7. 学 内 施 設 の 利 用

- 1) 学生各自にロッカーを貸与する。ロッカーの鍵は各自が責任を持って保管、使用すること
- 2) 学内施設使用後は直ちに整理整頓して、教務にその旨を届出ること
- 3) 本校の図書室の利用規定は別に定める

8. 事 故 等 の 連 絡

事故のあった場合は速やかに学校まで届出ること

9. 保 健 衛 生

- 1) 定期健康診断(内科検診・レントゲン検診)を毎年実施する
これは全員受診しなければならない
- 2) 本校の校医は下記の通りである
こじまクリニック 福山市春日町1丁目23-25
TEL 084-945-1000

10. 学 校 学 生 生 徒 旅 客 運 賃 割 引 証

- 1) 片道100キロを越えてJRを利用して旅行するときには『学割』を利用することができる
- 2) 学割証交付願は使用2日前までに提出のこと

11. 通 学 定 期 購 入 に つ い て

- 1) 通学には通学定期券を購入することができる
- 2) JR通学は通学証明書発行願を使用2日前までに提出のこと

12. 奨 学 金 制 度 に つ い て

優秀なる生徒に経済的理由により修学が困難な場合には、独立行政法人日本学生支援機構より学資の貸与を受けることができる。

13. 特 待 生 奨 学 金 制 度 に つ い て

上記の奨学金制度とは異なり本校独自の特待奨学金制度受給資格を以下に記す。

奨学金支給規程 第1条に基づき、成績優秀且つ他の学生の模範となる学生に対し各学年2名ずつ選定し、授業料の部分免除を行う。

1年生：¥200,000

2年生：¥300,000

3年生：¥300,000

各学年2名ずつ選定する

※1年次においては、入学試験の結果をもとに決定する。

また2,3年次においては、第1条をもとに、教務会議にて決定する

※途中退学した場合、特待奨学生はその資格を失い該年度の奨学金を返還しなくてはならない

7. 試験について

1. 種類

本校の試験には前期試験、後期試験、登院試験、進級試験、卒業試験の5種がある。

2. 前・後期試験

- 1) 前・後期終了時に実施する
- 2) 各科目総時間数の欠席が3分の1を越える者、学費納入のない者に受験資格が与えられない
- 3) 各科目の成績評価点は、100点満点とし
80点以上を 優
70点以上を 良
60点以上を 可
60点未満を 不可
として優・良・可を合格とし、60点未満を不合格とする

3. 登院試験

- 1) 2学年の前期に実施する
- 2) 2. 前・後期試験の2) 3) に準ずる

4. 進級試験

- 1) 2学年の後期に実施する
- 2) 2. 前・後期試験の2) 3) に準ずる

5. 卒業試験

- 1) 3学年の後期に実施する
- 2) 2. 前・後期試験の2) に準ずる

6. 追試験

病気その他止むを得ない理由で欠席した者で所定の手続きを経た者に対して、受験資格を与え、追試験を実施する。所定の手続きとは追試験願と追試験料1科目につき500円を添えて、事務局に提出すること。卒業試験の評価もこれに準ずる。

7. 再試験

前・後期試験で不合格になった学科目について行う。所定の手続きを経た者に対して、再試験を実施する。成績評価は100点満点で60点以上を合格とし評価は可とする。所定の手続きとは、再試験願と再試験料1科目につき3,000円を添えて事務局に提出すること。

8. 補講

やむを得ない理由により、欠席日数が、3分の1を超える場合、又は実習試験において所定の水準に達していない場合、所定の手続きを得た者に対して、補講を行う。所定の手続きとは、補講願と、補講料1時限につき11,000円(90分)を添えて事務局に提出すること。

9. 手続きについて

6～8の各手続きは定められた期限内に行うものとし、期限を過ぎた者は手続きを認めない。

10. 進級

各学年で所定の単位を取得した者を次学年に進級させる。(学則第18条)

11. 卒業

本校所定の単位を修得し、且つ卒業試験に合格した者には卒業証書を授与する。(学則第19条)

12. 受験心得

- 1) 受験者は、必ず身分証明書(追・再試験許可証)を携帯し、机上に掲示すること
- 2) 試験会場には指示された物以外は持ち込まないこと
- 3) 試験開始後30分は退場を認めない
- 4) 試験開始後20分経過した後は受験を認めない
- 5) 試験場内では、監督者の指示に従うこと
- 6) 口頭試問については、その科目の担当講師が別に定める
- 7) 病気・事故により受験できない場合は、その旨を速やかに事務局に届出ること
- 8) 試験中不正行為を行った者は下記により処罰する
ア) 不正行為を行った者は停学とし、当試験科目を無効(失格)とする
イ) 不正行為の意志ありと確認された者は訓告以上の処分とする。不正行為とは、受験にカンニング、メモの使用、隣人との会話、その他の不正行為をさす
- 9) 無記名答案は無効とする
参考書、ノート、辞書等の使用を許可された科目にあつては自己使用に限る。該当時間中にそれを貸借することは不正行為とみなす。筆記用具、消しゴム等の貸借も同じ
- 10) レポートによる科目は、指定期日までに提出場所へ提出のこと。規定期日に遅れた者は、試験に遅刻したものとみなして一切受け付けない
- 11) 下敷の使用は許可しない

8. 気象警報が発令された場合の対応

本校の休校の判断は福山地区に以下の気象警報が発令された場合とする。

暴風・暴風雪警報及び特別警報(波浪特別警報を除く)

午前6時現在発令中…午前中の授業は休校、朝からの学外実習は中止

午前10時までに解除または注意報に変更…午後1時開始、午後開始の学外実習は実施

午前10時現在発令中…臨時休校、午後開始の学外実習は中止

大雨・洪水・大雪警報

通常の登校を行うこと。ただし、地域の実情や保護者の判断などで、自宅待機できる。この場合は必ず学校に連絡を行う。また事前に登校困難と校長が判断した場合は、学校から学生に連絡を行う。

午前6時以降に上記警報が発令された場合、又は福山地区に限らず居住区域に上記警報が発令された場合、地域の実情や保護者の判断などで自宅待機できる。この場合は必ず学校に連絡を行う。以上の理由、又は校長が特にやむを得ないと認めた場合は、欠席・欠課・遅刻扱いにしない。

9. 図書利用規定

第1条 開室及び貸出受付時間は次の通りである。

午前9時～午後5時

第2条 図書、雑誌などの貸出しを希望する場合は、その図書、雑誌を教務に提示して、所定の手続きを経なければならない。所定の手続きとは、図書貸出願に記入し、図書委員に掲示しなければならない。

第3条 図書、雑誌などの貸出期間は次の通りとする。

- 1) 図書、雑誌は1週間とする
- 2) 延期を希望する時は本人が当該図書を持参して図書委員に申し出ること。他の利用者からの貸出し希望がある場合は、継続を制限することがある。

第4条 図書及び雑誌の返却に際してはその図書、雑誌を図書委員に掲示して所定の手続きを経なければならない。所定の手続きとは図書貸出願に返却印をもらい定位置に戻さなければならない。

第5条 室外帯出図書及び雑誌は、他人に貸与、譲渡してはならない。

第6条 室外帯出によって生じた事故については、その署名者が責任を負うものとする。

第7条 禁帯出図書について

- 1) 禁帯出図書は開室時間に閲覧することができる
- 2) 禁帯出図書の持ち出しは固く禁ずる

第8条 室外帯出図書の貸出しは2冊以内とする。

第9条 校内貸出図書を希望する場合は、図書委員の許可を得なければならない。

第10条 無届け延滞、紛失の処置、罰則は次の通りとする。

- 1) 無届けの延滞はその日数毎に、一日100円の徴収を教務が行う
- 2) 図書を紛失した時はいかなる理由にもかかわらず、直ちに図書紛失届を提出し、現物又は相応する金額を3週間以内に弁償しなければならない

第11条 図書入室中の心得は次の通りとする。

- 1) 室内では静粛を保ち私語その他、他人に迷惑をかける行為は固く禁ずる
- 2) 書架から取り出した図書は閲覧後必ずもとの位置に戻しておくこと
- 3) 室内での飲食は固く禁ずる
- 4) 図書は共同のものであるから、常に大切に取り扱い、書き入れ、切り抜き、破損などの行為は固く禁ずる
- 5) その他、室内の秩序を乱す様な行為がある場合は、教務は退室を命ずることができる

第12条 学生の中から図書委員を選出し、委員の任務は次の通りとする。

- 1) 校内帯出図書を希望する場合、図書委員はこれを管理する
- 2) 適宜、図書の整理をする

10. 自動車・バイク通学について

1. 自動車通学について

原則として個人で駐車場を確保し、任意保険の契約を締結の上、所定の書類を届け出れば、自動車通学を認める。但し、登下校の際、及び臨地実習を含む学校管理下において、学校の許可なく他の学生を同乗させることは禁止とする。届け出には、自動車通学届と次の3点の写し(コピー)が必要となる。

1. 駐車場の確保が証明できる書類
2. 車検証
3. 任意保険証書

届け出ることなく無断で自動車通学した場合、学則により懲戒処分となる。

駐車場の確保が困難な場合、有償にて歯科医師会館の駐車場を賃貸することができる。但し、駐車場使用契約書の内容を遵守すること。契約内容に反した場合は、使用許可を取り消す。

2. バイク通学について

学校で指示された所定の位置に駐輪し、自賠責保険の契約を締結の上、所定の書類を届け出れば、バイク通学を認める。但し、登下校の際、及び臨地実習を含む学校管理下において、学校の許可なく他の学生を同乗させることは禁止とする。届け出には、バイク通学届と自賠責保険の写し(コピー)が必要となる。届け出ることなく無断でバイク通学した場合、学則により懲戒処分となる。

11. 授業科目及び授業時間数(学年別)

教育内容		講師名	単位	授業時間	基準単位数	学年	実務経験	掲載ページ		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	社会学	後藤俊文	1	16	11	1	26		
		心理学	三上いづみ	1	16		1	27		
		生物学	赤崎徳司	1	16		1	28		
		化学	藤岡晴人	1	16		1	29		
		英語	村上直美	1	16		1	30		
		哲学	野村卓史	1	16		1	31		
		食生活概論	重森美由紀	1	16		1	32		
		保健体育	中島真弓	1	16		1	33		
		介護技術	南智子・土居河喜美子	2	38		2	79		
		現代マナー(接遇)	甲斐滋美	1	16		1	62		
基礎分野計			11	182	11					
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く) の構造と機能	解剖学	櫻田篤・田中尚代	2	32	16	1	歯科医師として診療に従事	34	
		生理学	番匠谷研吾	1	16		1	歯科医師として診療に従事	35	
		生化学	金田俊彦	1	18		1	歯科医師として診療に従事	36	
	歯・口腔の構造と 機能	口腔解剖学	藤田康晴	1	22		1	歯科医師として診療に従事	37	
		歯牙解剖学	志田原早苗	1	16		1	歯科医師として診療に従事	38	
		歯の解剖	スケッチ:池田豊 カービング:佐藤恒之・宮田知秀 鈴木直樹・井上慶	1	24		1	歯科医師として診療に従事	39	
		口腔生理学	古寺伸寛	1	16		1	歯科医師として診療に従事	40	
		組織発生学	森数祐輔	1	16		1	歯科医師として診療に従事	41	
	疾病の成り立ち 及び回復過程の 促進	病理学	越智大輔	1	16		1	歯科医師として診療に従事	42	
		口腔病理学	中島健吾	1	16		1	歯科医師として診療に従事	43	
		薬理学	上原康嗣・田中宏明	2	32		1	歯科医師として診療に従事	44	
		微生物学	矢野暢人・佐藤連造	2	34		1	歯科医師として診療に従事	45	
		隣接医学	福山市医師会	1	16		3		80	
	小計			16	274					
	歯・口腔の健康と 予防に関わる人間 と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	鳥枝剛士	1	16		7	1	歯科医師として診療に従事	46
		口腔衛生学Ⅱ	下江正幸	1	16			1	歯科医師として診療に従事	47
		衛生学	奥村昌泰	1	16			1	歯科医師として診療に従事	48
		栄養学	奥山清美	1	20			1		49
		公衆衛生学	武田尊浩	1	18			2	歯科医師として診療に従事	63
		歯科衛生統計学	横山晴洋・専任教員	1	16			2	歯科医師として診療に従事	64
		衛生行政・社会福祉	林宏昌	1	20			2	歯科医師として診療に従事	65
	小計			7	122					
	専門基礎分野計			23	396		23			
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	専任教員	1	16	2	1	歯科衛生士業務に従事	50	
		倫理学	豊田千津子	1	16		2		66	
	小計			2	32					
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	信森浩一	1	22	14	1	歯科医師として診療に従事	51	
		臨床検査	羽原利幸・松田浩明	1	16		1		52	
		歯科放射線学	重森俊文・柏原誠二	1	20		1	歯科医師として診療に従事	53	
		保存修復学	前田かや・塩崎高志・田中宏明	1	20		1	歯科医師として診療に従事	54	
		歯科材料学	喜田剛介	1	18		1	歯科医師として診療に従事	55	

専門分野	臨床歯科医学	歯内療法学	藤井理史	1	22		2	歯科医師として診療に従事	67
		歯周療法学	佐藤裕紀・寺島祥充	1	22		2	歯科医師として診療に従事	68
		歯科補綴学	太田吉宣・岡本信	2	34		2	歯科医師として診療に従事	69
		口腔外科学	新木恒猪・木村義昭	1	28		2	歯科医師として診療に従事	70
		小児歯科学	高橋昌司	1	16		2	歯科医師として診療に従事	71
		歯科矯正学	小川晴也	1	24		2	歯科医師として診療に従事	72
		障がい者歯科学	門利哲也	1	16		2	歯科医師として診療に従事	73
		高齢者歯科学	藤原里美・藤原千尋	1	16		2	歯科衛生士業務に従事	74
	小計			14	274				
	歯科予防処置論	齧蝕予防処置	小川由希子・松山繁樹・ウエルテック	1	24	9	1	歯科医師として診療に従事	56
		予防的歯石除去法Ⅰ	専任教員	1	16		1	歯科衛生士業務に従事	57
		予防的歯石除去法実習Ⅰ	専任教員	2	60		1	歯科衛生士業務に従事	57
		予防的歯石除去法Ⅱ	専任教員	1	28		2	歯科衛生士業務に従事	75
		予防的歯石除去法実習Ⅱ	専任教員・ハクスイ貿易	2	60		2	歯科衛生士業務に従事	75
		予防的歯石除去法Ⅲ	専任教員	2	46		3	歯科衛生士業務に従事	81
	小計			9	234				
	歯科保健指導論	歯科保健指導Ⅰ	横井健朗	2	36	8	1	歯科医師として診療に従事	58
		実習Ⅰ	専任教員	1	30		1		58
		歯科保健指導Ⅱ	専任教員	2	36		2	歯科衛生士業務に従事	76
		実習Ⅱ	専任教員	1	32		2	歯科衛生士業務に従事	76
		歯科保健指導Ⅲ	専任教員	2	54		3	歯科衛生士業務に従事	82
	小計			8	188				
	歯科診療補助論	診療補助Ⅰ	池田量・卜部雅嗣・平地正茂 平田一成・日野泰樹	2	32	13	1	歯科医師として診療に従事	59
		実習Ⅰ	宇田航希・専任教員	2	84		1		59
		診療補助Ⅱ	教務・専任教員	2	32		2	歯科医師として診療に従事	77
実習Ⅱ			2	62	2		77		
診療補助Ⅲ		門利哲也・森功一郎・教務・育成部 (牧平周生・田中宏明)・専任教員	2	40	3			83	
実習Ⅲ			1	32	3			83	
看護学		児島敏恵	1	20	1			60	
医療保険事務		吉沢律子・アイデンス	1	18	2		歯科衛生士業務に従事	78	
小計			13	320					
臨地実習(臨床実習を含む)Ⅰ			11	495	20	2	歯科医師として診療に従事		
"Ⅱ			9	405		3	歯科医師として診療に従事		
小計			20	900					
専門分野計			66	1948	66				
選択必須分野	手話	院内感染・救急処置	高橋かおる・山中真美	1	16	8	1		61
		社会保険	福山市医師会	1	16		3		84
		歯科総合	西谷展	1	16		3	歯科医師として診療に従事	85
		生花	各科目担当講師	3	80		3		86
		一般教養	小川智子	1	16		3		87
		一般教養	各項目担当講師	1	18		1・2・3		88
	選択必須分野計			8	162	8			
合計			108	2688	108				

12. インターネットでのコミュニティサイトや動画投稿サイトなどの利用について

インターネット上でのコミュニティであるソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）には、LINE、Facebook、X、Google+、Myspace、Ameba、LinkedIn、GREE、Mobage、Instagram などがあります。また、コメントやトラックバックなどのコミュニケーション機能を有している weblog（ブログ）や 2ちゃんねるの様な電子掲示板も広義的には SNS に含まれています。これら SNS や YouTube やニコニコ動画などの動画投稿サイトを有効に利用することは学生生活のみならず、就職活動にも利点があると考えています。

しかし、利用に際しては、福山歯科衛生士学校の学生として、品位のある態度を取り、自己責任で利用することはもちろん、それに伴う損害等が発生した場合も自己責任で対応しなければいけないことを念頭に置いて利用しなければいけません。

被害者になるばかりでなく、知らないうちに加害者側になり、刑事罰を受けたり、民事訴訟に巻き込まれる可能性があることを十分に理解してください。

1. 具体的な注意事項を下記に示しますので、よく周知しておくようにお願いします。

① SNS、動画投稿サイト利用に際しては、その内容をよく検討し、個人情報の登録、公開等の設定は十分注意すること。また、設定公開した場合でも、それ以外の者が閲覧する可能性があることを理解しておくこと。安易に実名、住所、電話番号、メールアドレス、学校名など個人情報を公開することは危険を伴うことを十分周知すること。

また、携帯などで撮った画像や動画には位置情報を含んだものがあり、それを公開することで個人が特定されることがあることを周知すること。

② SNSや動画投稿サイトの利用に関して、日本国の法令を遵守すること。著作権や個人の肖像権を侵さないこと。（学校内で実施する模擬試験問題等含む）

③ 学校の名誉を傷つけたり、学校関係者、歯科医師会関係、実習先の病院や患者さんに迷惑がかかるような書き込み、写真、動画の公開を行わないこと。

④ 学生間でのいじめや、個人批判等、それと捉えられる道具として使用しないこと。

⑤ 悪質な嫌がらせや、被害にあった場合は学校に連絡するとともに、サービスの管理者、警察へ通報すること。

最後に、上記①～⑤の内容に抵触（規則に反する）した場合には、それ相応か時には退学を含む 厳重な処分が科されることがある。

13. 証明書・諸届け一覧表

	種 類	用 紙	提出先	手数料
1	欠席届	綴り	職員室	0
2	欠課届	綴り	職員室	0
3	遅刻・早退届	綴り	職員室	0
4	学校感染症罹患証明書	綴り	職員室	0
5	忌引届	綴り	職員室	0
6	歯科アルバイト許可願	綴り	職員室	0
7	再試験許可願	綴り	事務室	3,000
8	追試験許可願	綴り	事務室	500
9	補講許可願	綴り	事務室	11,000
10	JR 通学証明書発行願	綴り	事務室	0
11	学割証交付願	綴り	事務室	0
12	他業種アルバイト許可願	綴り	職員室	0
13	在学証明書	綴り	事務室	100
14	成績証明書	綴り	事務室	100
15	卒業見込証明書	綴り	事務室	100
16	卒業証明書	綴り	事務室	100
17	変更届	職員室	職員室	0
18	自動車通学届	職員室	事務室	0
19	バイク通学届	職員室	職員室	0
20	身分証明書再交付願	職員室	職員室	1,000
21	仮身分証発行手数料	職員室	職員室	1,000
22	休学願	職員室	職員室	0
23	復学願	職員室	職員室	0
24	退学願	職員室	職員室	0
25	転入学願	職員室	職員室	0
26	分納許可願	事務室	事務室	0
27	図書紛失届	職員室	職員室	0
28	ロッカー鍵紛失届	職員室	職員室	0
29	事故報告届	職員室	職員室	0
30	学内掲示	無し		0

欠 席 届

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : _____

氏 名 : _____

下記の理由により欠席しましたのでお届け致します。

〈欠席理由〉

年 月 日 : 年 月 日 ()

欠 課 届

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : _____

氏 名 : _____

下記の理由により欠課しましたのでお届け致します。

〈欠課理由〉

年 月 日 : 年 月 日 ()

時 間 : { () 時 限 目
午後・午前 時 分 ~ 時 分

科 目 :

遅刻・早退届

年 月 日

専門学校 福山歯科衛生士学校 校長 殿

第 学年 (期生) 学籍番号: _____

氏 名 : _____

下記の理由により () しましたのでお届け致します。

〈理由〉

年月日 : 年 月 日 ()

時間 : 午前・午後 時 分

科目 :

学校感染症罹患証明書

専門学校 福山歯科衛生士学校 校長 殿

第 学年 (期生) 学籍番号: _____

氏 名 : _____

病 名 : _____

(出席停止期間 月 日～ 月 日)

上記のとおり証明します。

年 月 日

医院名

医師名

印

忌 引 届

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : _____

氏 名 _____

保 証 人 氏 名 _____ 印 _____

下 記 の と お り 忌 引 し ま す の で お 届 け 致 し ま す 。

1. 続 柄 :

2. 故 人 名 :

3. 忌 引 期 間 :

年 月 日 () ~ 年 月 日 ()

歯科アルバイト許可願

年 月 日

専門学校 福山歯科衛生士学校 校長 殿

第 学年 (期生) 学籍番号: _____

氏 名 : _____

住 所 : _____

下記のとおり、歯科でのアルバイト許可をお願い致します。

歯科医院名 :

院 長 名 :

医院所在地 :

電 話 番 号 :

時 間 :

曜 日 :

交 通 手 段 :

そ の 他 :

再 試 験 許 可 願

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

上 記 の 科 目 の 試 験 料 () 円 を 添 え て 試 験 の 申 請 を 致 し ま す 。
許 可 の 程 、 よ ろ し く お 願 い 致 し ま す 。

再 試 験 許 可 証 / 領 収 証

年 月 日

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

上 記 科 目 の 再 試 験 を 許 可 す る 。

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

¥

上 記 正 に 領 収 致 し ま し た 。 但 再 試 験 料 と す る 。

福 山 市 南 蔵 王 町 6 丁 目 1 9 番 3 4 号
専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

追 試 験 許 可 願

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

上 記 の 科 目 の 試 験 料 () 円 を 添 え て 試 験 の 申 請 を 致 し ま す 。
許 可 の 程 、 よ ろ し く お 願 い 致 し ま す 。

追 試 験 許 可 証 / 領 収 証

年 月 日

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

科 目 ・ 講 師 名 : 先生

上 記 科 目 の 追 試 験 を 許 可 す る 。

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

〒

上 記 正 に 領 収 致 し ま し た 。 但 追 試 験 料 と す る 。

福 山 市 南 蔵 王 町 6 丁 目 1 9 番 3 4 号
専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

補 講 許 可 願

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

科 目 :

講 義 ・ 実 習 名 :

担 当 講 師 名 : 先 生

上記の科目の補講料 () 円を添えて補講の申請を致します。
許可の程、よろしくお願ひ致します。

補 講 許 可 証 / 領 収 証

年 月 日

第 学 年 (期 生) 学 籍 番 号 : 出 席 番 号 :

氏 名 :

上記の科目の補講を許可する。

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

¥

上記正に領収致しました。 但 補講料とする。

福 山 市 南 蔵 王 町 6 丁 目 1 9 番 3 4 号
専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校
校 長 横 山 晴 洋 印

学 割 証 交 付 願

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

学 割 証 の 交 付 を お 願 い 致 し ま す 。

学 年 第 学年 (期生)

学 籍 番 号

氏 名

年 齢 歳

乗 車 区 間 駅 ~ 駅

枚 数 枚

- 使 用 目 的
1. 帰 省
 2. 正課教育
 3. 正課外教育活動
 4. 就職・受験
 5. 見 学
 6. 傷病治療
 7. 保護者旅行随伴

※学割証は発行日より3ヶ月間有効です。

使用期限を過ぎたものは使用できません。

他業種アルバイト許可願

年 月 日

専門学校 福山歯科衛生士学校 校長 殿

第 学年 (期生) 学籍番号: 出席番号:

氏 名

住 所

保証人氏名

下記のとおり、他業種でのアルバイト許可をお願い致します。

〈理 由〉

〈アルバイトについて〉

店 名:

職 種:

所 在 地:

電話番号:

時 間:

曜 日:

交通手段:

そ の 他:

証 明 書 交 付 願

年 月 日

専 門 学 校 福 山 歯 科 衛 生 士 学 校 校 長 殿

ふりがな		学年	第 学年(期生)		
氏 名		学籍 番号		出席 番号	
		生年 月 日	S・H	年 月 日	日生
現住所					

下 記 の 証 明 書 の 交 付 を お 願 い 致 し ま す 。

証 明 書 の 種 類	通 数	手 数 料 (各100円)	使 用 目 的
在学証明書	通	円	
成績証明書	通	円	
卒業見込証明書	通	円	
卒業証明書	通	円	

《科 目》

社会学

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 後藤 俊文

《目 的》 社会学が取り組んできたさまざまな課題を紹介しながら、私たちの身の回りで起こる現象や日本の社会が抱える問題について、多面的に理解する方法を学ぶ

《方 法》 講義：8回 試験：1回

《時 期》 第1学年 前期

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 指定しない。必要に応じて講義中に配布、紹介する

《評価方法》 授業日ごとに提出するコメントシートと最終試験を総合して評価する

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	4月10日(金) 3限目	オリエンテーション	講義紹介、履修上の注意、テスト、評価方法について説明する
2	4月10日(金) 4限目	社会学の方法	社会学のものの見方、調査方法について学ぶ
3	4月24日(金) 3限目	自分探しの社会学	自己と他者の関係性について学習する
4	4月24日(金) 4限目	行為の社会学	人びとの行動がどのように決められているかについて学習する
5	5月1日(金) 3限目	プレゼントの社会学	なぜ人はモノをあげたがるのかについて学習する
6	5月1日(金) 4限目	働くことと買うことの社会学	労働と消費の意味について学習する
7	5月8日(金) 3限目	都会派 or 地元派？の社会学	ライフスタイルと生活環境の関係について学習する
8	5月8日(金) 4限目	講義のまとめ	これまでの講義のまとめを行う
	6月1日(月) 2限目	試 験	

《科 目》

心理学

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 三上 いづみ

《目 的》 人間の発達や人間関係の様相について、心理学の基礎知識をもとに解説を行う。患者が抱えるさまざまな気持ちや思い、問題を理解するコミュニケーション能力が臨床実践では不可欠である。この授業では心理学全般の基礎的知見を概観し、心理学がどのような学問であるかについての理解を深める。加えて、この知識を基に、カウンセリングの基礎理論と活用法を理解し自身のコミュニケーション技術に応用できるようにする。

《方 法》 講義：8回 試験：1回

《時 期》 第1学年 後期

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「心理学」

《評価方法》 定期試験により判断する

《授業内容・到達目標》 心理学・臨床心理学の基礎知識について説明でき、人のこころを理解するコミュニケーション技術を習得する

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	12月3日(木) 1限目	知覚・認知・学習の心理	知覚・認知・学習心理の基礎を学ぶ
2	1月14日(木) 1限目	動機・感情の心理	動機づけ、感情の種類やメカニズムについて学ぶ
3	1月21日(木) 1限目	知能・思考の心理	知能の構造や測定方法、思考の方法について学ぶ
4	1月28日(木) 1限目	発達の心理①	胎児期～児童期までの各発達段階の特徴や課題について学ぶ
5	2月4日(木) 1限目	発達の心理②	思春期～高齢期までの各発達段階の特徴や課題について学ぶ
6	2月4日(木) 2限目	対人関係・集団の心理	対人認知、印象形成、集団心理について学ぶ
7	2月18日(木) 1限目	その人らしさの心理、 心の健康	パーソナリティの構造や測定方法、心の健康、心の病気について学ぶ
8	2月18日(木) 2限目	カウンセリングの心 思いを伝える心	カウンセリングの基礎、医療におけるコミュニケーションについて学ぶ
	2月19日(金) 2限目	試験	

《科目》

生物学

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 赤崎 健司

《目的》 歯科はヒトという生物に深く関わっているため、生物の基礎を理解することを目的とする

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「生物学」

《評価方法》 試験の成績で評価する

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月10日(金) 1限目	生命	生命を成立させている物質、環境、原始細胞の成立を説明できる。
2	4月24日(金) 1限目	生命の基本単位としての細胞	細胞内に存在する小器官の特徴と機能について説明できる。細胞の様々な活動について説明できる。
3	5月1日(金) 1限目	組織と細胞	単細胞生物と多細胞生物について説明できる。ヒトの組織の種類、構成する細胞、機能について説明できる。
4	5月15日(金) 1限目	細胞分裂・細胞死	細胞の分裂の仕組みとその意義を説明できる。細胞死の仕組みとその意義を説明できる。
5	5月22日(金) 1限目	遺伝と遺伝子	遺伝とその法則、遺伝子の本体について説明できる。
6	5月29日(金) 1限目	刺激と受容と反応	神経による刺激の受容と伝達について説明できる。中枢神経と末梢神経の関係とその働きについて説明できる。
7	6月5日(金) 1限目	内部環境を保つ仕組み	体液の役割とホメオスタシスについて説明できる。ホルモンの種類、機能、それらの相互関係について説明できる。
8	6月12日(金) 1限目	生体防御	免疫の種類と免疫に関係する細胞とその機能について説明できる。
	6月25日(木) 2限目	試験	

《科目》

化学

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 藤岡 晴人

《目的》 身近な自然現象や化学物質、医薬品などの例を適宜挙げながら、化学の基礎を教授する。
なお、講義は教科書に沿って進める。

《方法》 講義:8回 試験:1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「化学」

《評価方法》 筆記試験を行い、評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月9日(木) 1限目	物質(講義)	物質の成り立ち
2	4月23日(木) 1限目	気体(講義)	気体に関する法則
3	4月30日(木) 1限目	溶解(講義)	溶解現象と濃度
4	5月7日(木) 1限目	溶液(講義)	希薄溶液の性質
5	5月14日(木) 1限目	酸・アルカリ(講義)	酸・塩基の定義と酸性度
6	5月28日(木) 1限目	酸化・還元(講義)	酸化・還元の定義と酸化数
7	6月4日(木) 1限目	有機化学(講義)	有機化学の基礎
8	6月18日(木) 1限目	生体を構成する分子(講義)	糖、タンパク質、核酸
	7月9日(木) 2限目	試験	

《科目》

英語

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 村上 直美

《目的》 外国人の患者様にも、落ち着いた気持ちで治療を受けてもらえるよう簡単なコミュニケーションを取れるようになることを目的とする

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯科英語」

《評価方法》 出席率、テスト（60点以上を合格点とする）

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	10月27日(火) 1限目	挨拶	Classroom Help - Greetings Introductions
2	11月10日(火) 1限目	日付・時間	Date & Time
3	11月24日(火) 1限目	受付での対応	Personal Informations - Occupations
4	12月1日(火) 1限目	予約への対応	Dialog Practice - Making Appointments
5	12月8日(火) 1限目	体の名称	Body & Health
6	1月19日(火) 1限目	病状の表現	Dialog Practice - Patient Condition
7	1月26日(火) 1限目	未来表現	Future Tense
8	2月2日(火) 1限目	まとめ	復習(Catch-up/Review)
	2月9日(火) 2限目	試験	

《科目》

哲 学

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 野村 卓史

《目 的》 哲学と民主主義は、両者ともに一人ひとりの思考力を重視するという点で、不可分の関係にあります。民主主義を肯定するにせよ、否定するにせよ、求められるのは批判的な思考です。現代日本が直面しているこの「思考力に関わる問題」を考えることで、哲学を学ぶ目的が自ずと浮かび上がってくるはずです。

《方 法》 講義8回 試験：1回

《時 期》 第1学年

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 配布プリント（必ずノートを用意しておくこと）

《評価方法》 受講態度と試験の成績による

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	5月15日(金) 3限目	自由	パターナリスティックな国家と日本人
2	5月29日(金) 3限目	徳性	プラトンとアリストテレスー政治と教育をめぐって
3	6月5日(金) 3限目	力能	社会契約説とホブズ問題
4	6月12日(金) 3限目	感情	スピノザの政治／国家論
5	6月19日(金) 3限目	歴史	三木清——個性をめぐる思考と格闘
6	6月26日(金) 3限目	差異	ドゥルーズらのニーチェ論
7	7月3日(金) 3限目	理性	カントの平和構想とロールズの思想
8	7月10日(金) 3限目	民主主義	授業のまとめと補足
	7月16日(木) 2限目	試 験	

《科目》

食生活概論

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 重森 美由紀

《目的》 食生活を通して、ライフステージにおける歯科衛生介入を学ぶ

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 第2版 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」

「人体の構造と機能3 栄養学」

とうほう 「食品成分表2026」 「新フードマスターシール」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月10日(金) 2限目	妊産婦期	妊産婦期の栄養と食生活指針
2	4月24日(金) 2限目	新生児期	哺乳期・離乳期の食生活指導
3	5月1日(金) 2限目	幼児期	幼児期の食生活の特徴と栄養・間食
4	5月15日(金) 2限目	学齢期	学齢期における食育の重要性・食育基本法
5	5月22日(金) 2限目	青年期	青年期の食生活の特徴・摂食行動
6	5月29日(金) 2限目	成人期	成人期の食事摂取基準・生活習慣病
7	6月5日(金) 2限目	老年期	身体変化に伴う食生活指導
8	6月12日(金) 2限目	要介護高齢者 障害者	健康を守る食事の重要性
	7月3日(金) 2限目	試験	

《科目》

保健体育

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活

《担当講師》 中島 真弓

《目的》 自分自身の健康づくりについて考え、健康のための運動をしていくための知識と方法を身につけることを目的とする

《方法》 講義(実技):8回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》

《評価方法》 出席状況と授業への取り組みや筆記テスト及び提出物を総合的に評価する

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	1月18日(月) 3限目	フィットネス概論Ⅰ (講義)	授業内容を理解するとともに、自分自身の現在の健康について考える
2	1月18日(月) 4限目	フィットネス概論Ⅱ (講義)	運動と健康について理解を深める
3	1月25日(月) 3限目	フィットネスプログラムⅠ (実習)	エアロビクスダンスを通じて、楽しく健康増進や体力づくりを行う方法を習得することが目的
4	1月25日(月) 4限目	からだと健康Ⅰ (講義)	身体的特徴を知り、自分自身の健康について考える
5	2月1日(月) 3限目	フィットネスプログラムⅡ (実習)	エアロビクスダンスのいろいろな動き(ステップ)を体験する
6	2月1日(月) 4限目	からだと健康Ⅱ (講義)	「栄養」「運動」「休養」について理解を深める
7	2月8日(月) 3限目	生涯スポーツⅠ (実習)	ウォーキング、ジョギングの方法を学び、自分自身の健康づくり、体力づくりに役立てる
8	2月8日(月) 4限目	生涯スポーツⅡ (実習)	年齢や体力に関係なく、心身共にリラックス効果があるとされるヨガを体験する

《科目》

解剖学

《分野・学科》 専門基礎分野 人体（歯・口腔を除く）の構造と機能

《担当講師》 櫻田 篤・田中 尚代

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 人体の組み立て、働きなどの問題を人体構造面から理解することを目的とする

《方法》 講義：16回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」

《評価方法》 試験の成績で評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	4月9日(木) 4限目	櫻田 篤	解剖学総論	解剖学の種類、人体の構成、人体の区分、解剖学用語、体の方向用語
2	4月23日(木) 4限目		骨格系	概説（骨の機能、骨の構造、骨の形態、骨の連結、体の部位による骨の分類）
3	4月30日(木) 4限目		骨格系	体幹骨、上肢骨、下肢骨
4	5月7日(木) 4限目		筋と運動	概説（筋の形状と分類）
5	5月14日(木) 4限目		筋と運動	体の各部の筋系（頸部、背部、胸部、腹部、上肢、下肢）
6	5月21日(木) 4限目		消化・吸収	消化と吸収の意義 消化器の構造（食道、胃、小腸）
7	5月28日(木) 3限目		消化・吸収	消化器の構造（大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜）
8	5月28日(木) 4限目		循環	脈管系の概要 血管の構造（血管壁の構造、吻合・終動脈、体循環・肺循環） 心臓（位置と形態、内部構造、心臓壁の構造、心臓の血管）
9	7月1日(水) 3限目	田中 尚代	循環	動脈系、静脈系
10	7月1日(水) 4限目		循環・感覚	胎児の循環系、リンパ系・外皮
11	7月8日(水) 3限目		感覚	特殊感覚器の構造
12	7月8日(水) 4限目		神経系	脳脊髄膜、脳の血管、脳神経
13	7月15日(水) 3限目		神経系	脊髄神経、自律神経、神経系の主な伝導路
14	7月15日(水) 4限目		呼吸	呼吸器系の構造
15	9月2日(水) 3限目		内分泌	内分泌官の構造と機能、ホルモン
16	9月2日(水) 4限目		生殖器	生殖器の構造、性周期
	前期試験期間		試験	

《科 目》

生理学

《分野・学科》 専門基礎分野 人体（歯・口腔を除く）の構造と機能

《担当講師》 番匠谷 研吾

《目 的》 歯科衛生士にとって必要な一般生理学を理解する

《方 法》 講義：8回 試験：1回

《時 期》 第1学年 前期

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯業出版 歯科衛生学シリーズ 「人体の構造と機能1解剖学・組織発生学・生理学」
プリント

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	4月13日(月) 1限目	細胞と機能	細胞の構造と構成体の機能 細胞の基本的生理機能
2	4月20日(月) 1限目	筋と運動	骨格筋・心筋・平滑筋の構造と収縮機序 運動ニューロン反射と随意運動
3	4月27日(月) 1限目	神経	神経系の分類 神経細胞の興奮と伝達の仕組み
4	5月11日(月) 1限目	神経・感覚	中枢神経の構造と特徴 感覚の基本的性質と特殊感覚器
5	5月18日(月) 1限目	循環・血液	体循環と肺循環 血液を構成する成分と機能 心臓の基本的構造と収縮の仕組み
6	6月15日(月) 1限目	消化・吸収	消化管と消化腺の構造と機能 消化液とその分泌調整機構
7	6月22日(月) 1限目	呼吸・排泄・体温	呼吸器の構造や機能と仕組み・腎臓の構造と尿の生成の仕組み・体温調節の仕組み
8	7月6日(月) 1限目	復習	復習
	7月14日(火) 2限目	試験	

《科目》

生化学

《分野・学科》 専門基礎分野 人体（歯・口腔を除く）の構造と機能

《担当講師》 金田 俊彦

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 生命現象と口腔内生理現象を化学的に理解する

《方法》 講義：10回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 木曜日 10:45~12:15

《使用教科書・教材》 医歯業出版 歯科衛生士学シリーズ 「生化学・口腔生化学」

《評価方法》 試験の成績と小テストの成績にて評価

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	9月24日(木) 2限目	講義	人体の構成要素
2	10月8日(木) 2限目	講義	人体による化学反応と恒常性の維持
3	10月15日(木) 2限目	講義	糖質と脂質の代謝
4	10月22日(木) 2限目	講義	タンパク質の代謝と相互関連
5	10月29日(木) 2限目	講義	遺伝子とタンパク質合成
6	11月5日(木) 2限目	講義	歯と歯周組織の生化学
7	11月19日(木) 2限目	講義	硬組織の生化学
8	12月3日(木) 2限目	講義	唾液の生化学
9	1月14日(木) 2限目	講義	プラークの生化学
10	1月21日(木) 2限目	講義	口腔内の生化学 まとめ
	後期試験期間	試験	

《科目》

口腔解剖学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の構造と機能

《担当講師》 藤田 康晴

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 臨床に必要な口腔を主とした解剖学の知識を理解し、修得する

《方法》 講義：11回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」

《評価方法》 授業の出席と試験の成績を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 1限目	口腔とは	口腔付近の表面、口腔前庭、固有口腔
2	4月22日(水) 1限目	口腔とは	舌、神経の一部、咀嚼筋、骨の概論
3	5月13日(水) 1限目	口腔を構成する骨	頭蓋骨の概要(前面～側面)
4	5月20日(水) 1限目	口腔を構成する骨	頭蓋骨の概要(下面～)、口腔を構成する骨(上顎骨)
5	5月27日(水) 1限目	口腔を構成する骨	頭蓋骨と口腔を構成する骨のまとめ
6	6月3日(水) 1限目	頭頸部の筋	顔面筋(表情筋)、咀嚼筋
7	6月10日(水) 1限目	顎関節	顎関節と咀嚼筋
8	6月17日(水) 1限目	口腔付近の脈管系	動脈
9	6月24日(水) 1限目	口腔付近の脈管系	静脈、リンパ系
10	7月1日(水) 1限目	神経	顔面神経～自律神経
11	7月15日(水) 1限目	咽頭と喉頭	唾液腺、咽頭と喉頭の構造
	前期試験期間	試験	

《科目》

歯牙解剖学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の機能・構造

《担当講師》 志田原 早苗

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 ヒトの歯の各々の歯種についての形態的特徴、歯列、咬合を理解する
また、歯及び歯列に現われる数、形、萌出及び歯列弓形態の異常を理解する

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「人体の構造と機能. 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 4限目	歯の概論Ⅰ	歯の機能、歯の交換、歯の植立、歯の組織、歯の形態、歯の種類と数 歯の表示法、歯式(歯の記号)、位置による名称
2	4月22日(水) 4限目	歯の概論Ⅱ	歯の用語、根管の形態、歯の左右の識別
3	5月13日(水) 4限目	永久歯・前歯 (切歯・犬歯)	永久歯の特徴 上顎中切歯、上顎側切歯、下顎中切歯、下顎側切歯、 上顎犬歯、下顎犬歯
4	5月20日(水) 4限目	永久歯・小白歯	上顎第一小白歯、上顎第二小白歯 下顎第一小白歯、下顎第二小白歯
5	5月27日(水) 4限目	永久歯・大白歯	上顎第一大白歯・上顎第二大白歯・下顎第一大白歯 下顎第二大白歯
6	6月3日(水) 4限目	乳歯	乳歯の特徴、永久歯との比較、乳歯の形態学的特徴
7	6月10日(水) 4限目	特色のある歯の 形態	それぞれの歯に好発する典型的形態とは異なる状態を呈した歯に ついて
8	6月24日(水) 4限目	歯列と咬合	歯群、歯列、歯列弓と形態、咬合彎曲、歯列と頭蓋、対合関係、接触 点、空隙、咬合の型、下顎位、下顎の運動、歯科矯正学的分類
	前期試験期間	試験	

《科目》

歯の解剖（スケッチ・カービング）

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の構造と機能

《担当講師》 スケッチ：池田 豊

カービング：佐藤 恒之・宮田 知秀・鈴木 直樹・井上 慶

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 スケッチ：歯の解剖の基本的形態及び知識を理解する

カービング：歯牙の形態を理解し、歯型彫刻ができるようになる

《方法》 スケッチ：講義（実習）4回 ・ カービング：講義（実習）8回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 スケッチ：医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」、プリント

カービング：カービング作製動画（1、3、4、6）

《評価方法》 スケッチ：スケッチ及び小テストの成績を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	12月9日(水) 4限目	スケッチ	歯の形態・歯の表徴について <u>1</u> のスケッチ
2	12月16日(水) 4限目	スケッチ	小テスト・ <u>3</u> のスケッチ
3	1月13日(水) 4限目	スケッチ	小テスト・ <u>4</u> のスケッチ
4・5	1月14日(木) 3・4限目	カービング	歯型彫刻の説明、上顎中切歯の彫刻
6	1月20日(水) 4限目	スケッチ	<u>6</u> のスケッチ
7・8	1月21日(木) 3・4限目	カービング	上顎犬歯の彫刻、形態の理解
9・10	1月28日(木) 3・4限目	カービング	上顎第一小白歯の彫刻、形態の理解
11・12	2月18日(木) 3・4限目	カービング	上顎第一大白歯の彫刻、形態の理解

《科目》

口腔生理学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の構造と機能

《担当講師》 古寺 伸寛

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 健全な口腔の健康を保つための諸機能（歯・咀嚼、唾液分泌、味覚、口腔感覚、発声）についてそのメカニズムを理解する

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月9日(木) 3限目	歯と口腔の感覚	歯の感覚・口腔粘膜の感覚
2	4月23日(木) 3限目	味覚と嗅覚	味覚・嗅覚の特性・役割、それらが受容される仕組み
3	4月30日(木) 3限目	咬合と咀嚼、吸啜	下顎位、下顎の運動・顎反射
4	5月7日(木) 3限目	咬合と咀嚼、吸啜	摂食行動、咀嚼能力、吸啜
5	5月14日(木) 3限目	嚥下と嘔吐	嚥下、嘔吐
6	5月21日(木) 3限目	発声	発声機構、音声の生成、言語音の形成
7	6月4日(木) 3限目	唾液	唾液腺、唾液の分泌機構
8	6月11日(木) 3限目	唾液	唾液の性状と成分、はたらき及び唾液と疾患
	前期試験期間	試験	

《科目》

組織発生学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の構造と機能

《担当講師》 森数 祐輔

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 人体の正常な構造を理解する為の解剖学の一部としての組織学で人体を構造する組織について理解し、発生学では人の発生について理解し、特に歯と口腔の発生について学び、歯科衛生士として必要な知識を深める

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」

医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」、プリント

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	9月1日(火) 3限目	細胞と組織	細胞の構造・一生(種類・構成)
2	9月29日(火) 3限目	細胞と組織	組織(上皮細胞・支持細胞・筋細胞・神経細胞)
3	10月6日(火) 3限目	発生	精子と卵子の発生、染色体、受精と着床、胚葉の形成 胎児の成長と発育、骨の発生
4	10月13日(火) 3限目	顔面と口腔の発生	顔面と口腔の発生
5	10月27日(火) 3限目	歯と歯周組織の発生	先行歯の発生 代生歯の発生 歯の萌出 歯の脱落と交換
6	11月10日(火) 3限目	歯および歯周組織の構造と機能	エナメル質、象牙質、歯髄複合体
7	11月17日(火) 3限目	歯および歯周組織の構造と機能	セメント質、歯根膜、歯槽骨
8	12月1日(火) 3限目	歯および歯周組織の構造と機能	歯肉、歯周組織の生理、口腔粘膜
	後期試験期間	試験	

《科目》

病理学

《分野・学科》 専門基礎分野 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

《担当講師》 越智 大輔

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科衛生士にとって必要な病理学の基礎を理解する

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯業出版 歯科衛生学シリーズ

「 疾病の成り立ち及び回復過程の促進Ⅰ 病理学・口腔病理学 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 2限目	講義	病理学序論と病因論について
2	5月13日(水) 2限目	講義	遺伝性疾患ならびに奇形について
3	5月22日(金) 3限目	講義	代謝障害について
4	5月27日(水) 2限目	講義	増殖と修復について
5	6月16日(火) 3限目	講義	循環障害について
6	6月30日(火) 3限目	講義	炎症について
7	7月7日(火) 3限目	講義	免疫について
8	7月14日(火) 3限目	講義	腫瘍について
	前期試験期間	試験	

《科目》

口腔病理学

《分野・学科》 専門基礎分野 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

《担当講師》 中島 健吾

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 口腔の病気の本態を理解し、診療・治療並びに予防に関する知識を得ること

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	9月24日(木) 1限目	口腔病理学概論	歯の発育異常
2	10月1日(木) 1限目	講義	歯の機械的及び化学的損傷、歯の付着物及び沈着物 象牙質とセメント質の増生及び歯髄と歯根膜の石灰化
3	10月8日(木) 1限目	講義	う蝕、う蝕の分類
4	10月29日(木) 1限目	講義	歯髄の病変、歯周組織の病変
5	11月5日(木) 1限目	講義	口腔粘膜創と抜歯創の治療、口腔粘膜の病変
6	11月12日(木) 1限目	講義	エプーリス、口腔領域の奇形
7	11月19日(木) 1限目	講義	顎骨の病変、口腔領域の嚢胞
8	11月26日(木) 1限目	講義	口腔領域の腫瘍、口腔領域の加齢変化
	後期試験期間	試験	

《科目》

薬理学

《分野・学科》 専門基礎分野 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

《担当講師》 上原 康嗣 ・ 田中 宏明

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科衛生士にとって必要な生命科学・臨床医学の一分野である薬理学を理解する

《方法》 講義：16回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進3薬理学第2版」

《評価方法》 試験の結果にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月30日(水) 4限目	田中 宏明	総論Ⅰ	薬物の作用、動態の理解
2	10月7日(水) 4限目		総論Ⅱ	薬物の適用方法の種類と特徴、作用に影響を与える要因の理解
3	10月14日(水) 4限目		総論Ⅲ	薬物の副作用、適用時の注意の理解
4	10月21日(水) 4限目		総論Ⅳ	薬物の取り扱いと法律等の理解
5	10月28日(水) 4限目		各論Ⅰ	ビタミン・ホルモン、末梢神経系に作用する薬剤の理解
6	11月4日(水) 4限目		各論Ⅱ	中枢神経、循環器系に作用する薬物の理解
7	11月25日(水) 4限目		各論Ⅲ	腎臓に作用する薬物、呼吸器系に作用する薬物の理解
8	12月2日(水) 4限目		各論Ⅳ	消化器系・血液に作用する薬物の理解
9	11月25日(水) 3限目	上原 康嗣	各論Ⅰ 9章10章	免疫、悪性腫瘍の知識と理解
10	12月2日(水) 3限目		各論Ⅱ 11章12章13章	代謝性疾患、炎症、痛みの知識と理解
11	12月9日(水) 3限目		各論Ⅲ 14章	局所麻酔薬についての知識と理解
12	12月16日(水) 3限目		各論Ⅳ 15章	感染症に対する知識と抗感染症薬と消毒液について
13	1月13日(水) 3限目		各論Ⅴ 16章	感染症に対する知識と抗感染症薬と消毒液について
14	1月20日(水) 3限目		各論Ⅵ 17章18章	う蝕予防に用いる薬物と歯・歯髄疾患の治療に用いる薬物について
15	1月27日(水) 3限目		各論Ⅶ 19章20章	歯周治療・口腔粘膜疾患に用いる薬物について
16	2月3日(水) 3限目		各論Ⅷ 21章	漢方医学の知識と理解
	後期試験期間		試験	

《科目》

微生物学

- 《分野・学科》 専門基礎分野 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
 《担当講師》 矢野 暢人・佐藤 連造
 《実務経験》 歯科医師として診療に従事
 《目的》 微生物の性状、感染及び免疫のメカニズムを理解し微生物による疾患の予防や保健指導に役立てるための基礎学問的知識を修得することを目的とする
 《方法》 講義：17回 試験1回
 《時期》 第1学年 前期
 《時間》 以下の表を参照
 《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版」
 《評価方法》 試験の成績などにて評価判定
 《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 3限目	矢野 暢人	微生物の一般性状 細菌総論	微生物の分類、一般性状について 細菌の形態・構造について
2	4月22日(水) 3限目		細菌総論	細菌の増殖と代謝について グラム染色による細胞壁の相違について
3	5月13日(水) 3限目		細菌各論	グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌、グラム陽性桿菌について
4	5月20日(水) 3限目		真菌 ウイルス	変わった細菌、真菌について ウイルスの一般性状および各論について
5	5月27日(水) 3限目		感染	微生物の感染について ・病原性と抵抗性について
6	6月3日(水) 3限目		免疫	微生物の感染に対する防御について ・免疫に関わる細胞について
7	6月10日(水) 3限目		免疫	微生物の感染に対する防御について ・体液性免疫について
8	6月17日(水) 3限目		免疫	微生物の感染に対する防御について ・細胞性免疫について・抗体、ワクチンについて
9	6月24日(水) 3限目		免疫	微生物の感染に対する防御について・抗原抗体反応について・免疫の過剰反応について・アレルギーについて
10	6月4日(木) 4限目	佐藤 連造	微生物の培養 観察と検査	培養法
11	6月18日(木) 3限目		化学療法	化学療法薬
12	6月25日(木) 3限目		化学療法 消毒と滅菌	消毒法 滅菌法 標準予防策
13	6月25日(木) 4限目		口腔微生物学	口腔環境と常在微生物
14	7月2日(木) 3限目		口腔微生物学	バイオフィルムとしてのプラーク
15	7月2日(木) 4限目		口腔微生物学	う蝕の細菌学 歯周病の細菌学
16	7月9日(木) 3限目		口腔微生物学	その他の口腔感染症
17	7月9日(木) 4限目		病原微生物学	歯科に関連するウイルスとウイルス感染症
18	7月16日(木) 3限目		病原微生物学	歯科に関連する真菌 口腔領域の原虫
前期試験期間			試験	

《科目》

口腔衛生学Ⅰ

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

《担当講師》 鳥枝 剛士

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯、口の正常な状態と機能を理解し、疾病の発生阻止や予防、健康増進の手段、方法についての知識を持つ

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」、プリント

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月14日(火) 3限目	Ⅱ編 歯・口腔の健康と予防 1章 総論	① 歯・口腔の健康 ② 歯・口腔の構造と機能 1. 歯・口腔の構造
2	4月21日(火) 3限目	1章 総論	② 歯・口腔の構造と機能 2. 歯・口腔の発生と成長・発育
3	4月28日(火) 3限目	1章 総論	② 歯・口腔の構造と機能 3. 歯・口腔の機能 4. 口腔の健康と全身の健康
4	5月12日(火) 3限目	1章 総論	③ 歯・口腔の付着物・沈着物
5	5月19日(火) 3限目	2章 歯科疾患の疫学	① う蝕の疫学 ② 歯周病の疫学 ③ 歯の喪失の疫学 ④ その他の疫学
6	5月26日(火) 3限目	3章 口腔清掃	① 口腔清掃の意義②口腔清掃法③機械的清掃法と用具 1. 歯ブラシ
7	6月2日(火) 3限目	3章 口腔清掃	③ 機械的清掃法と用具 2. 歯間部清掃用具 3. その他の清掃用具 4. プラークの染め出し ④ 不適切な口腔清掃による為害作用
8	6月9日(火) 3限目	3章 口腔清掃	⑤ 歯磨剤と洗口液・洗口剤
	前期試験期間	試験	

《科 目》

口腔衛生学Ⅱ

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

《担当講師》 下江 正幸

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目 的》 う蝕の予防・フッ化物によるう蝕予防、歯周疾患の予防、その他の疾患・異常の予防についての知識を習得する。

《方 法》 講義：8回 試験：1回

《時 期》 第1学年 後期

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	9月3日(木) 3限目	4章 う蝕の予防	う蝕発生と進行のメカニズム、う蝕の分類と症状、う蝕発生要因
2	9月17日(木) 3限目	4章 う蝕の予防	う蝕活動性試験、う蝕の予防方法
3	9月24日(木) 3限目	5章 フッ化物による う蝕の予防	不正咬合の予防、口臭の予防、その他の歯科疾患・異常
4	10月8日(木) 3限目	5章 フッ化物による う蝕の予防	フッ化物応用によるう蝕のう蝕予防法、フッ化物のう蝕予防メカニズム
5	10月15日(木) 3限目	6章 歯周疾患の予防	歯周疾患の症状と分類、歯周疾患の発症機序
6	10月22日(木) 3限目	6章 歯周疾患の予防	歯周疾患の全身に与える影響、歯周疾患の予防手段と処置
7	10月29日(木) 3限目	4～6章までの範囲の 小テストと解説	小テストを行いその解説をおこなう
8	11月19日(木) 3限目	7章 その他の疾患・ 異常の予防	不正咬合の予防、口臭の予防、その他の歯科疾患・異常の予防
	後期試験期間	試験	

《科目》

衛生学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

《担当講師》 奥村 昌泰

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 人間の健康問題とそれを取り巻くあらゆる環境因子との相互関係を追究する

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	9月28日(月) 3限目	1章 総論	衛生・公衆衛生学の定義、健康の概念 予防医学の概念、国際保健
2	10月5日(月) 3限目	2章 疫学	疫学の定義及び概要 疫学の方法
3	10月19日(月) 3限目	3章 人口	人口統計（人口静態統計）
4	10月26日(月) 3限目	3章 人口	人口統計（人口動態統計）
5	11月9日(月) 3限目	4章 環境と健康	環境と健康の概念、生活環境（空気と健康、温熱環境）
6	11月16日(月) 3限目	4章 環境と健康	生活環境（水、気象と健康、放射線、衣服、住居）
7	12月7日(月) 3限目	4章 環境と健康	廃棄物処理、環境保全（公害、地球環境）
8	12月14日(月) 3限目	5章 感染症	感染と発病、感染の三大要因及び予防、主な感染症の動向
	後期試験期間	試験	

《科目》

栄養学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み

《担当講師》 奥山 清美

《目的》 歯科保健指導の一環として、ヒトの健康を支える栄養素を中心にその栄養学的意義を学ぶ

《方法》 講義：10回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「人体の構造と機能3 栄養学」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月14日(火) 1限目	栄養の概念	栄養とは、栄養学とは、栄養素とは、歯科衛生士が栄養学を学ぶ意義
2	4月21日(火) 1限目	栄養と食生活の意義	健康づくりと食生活、食生活と栄養摂取状況の変遷 栄養・食生活の現状と問題点
3	4月28日(火) 1限目	栄養素の種類 糖質	糖質の種類、糖質の働き、糖質とその他の栄養素との関係
4	5月12日(火) 1限目	脂質	脂質の種類、脂質の働き
5	5月19日(火) 1限目	タンパク質	タンパク質の種類、タンパク質の働き、摂取タンパク質の量と質の評価
6	5月26日(火) 1限目	ビタミン	ビタミンの種類、ビタミンの働き
7	6月2日(火) 1限目	ミネラル	ミネラルの種類と働き
8	6月9日(火) 1限目	食物繊維 水	食物繊維の種類、食物繊維のはたらき 生体内の水の分布、水のはたらき、水の出納
9	6月16日(火) 1限目	栄養素の消化吸収	消化吸収と栄養、消化の種類、消化の過程 吸収のメカニズム、栄養素別の消化、吸収
10	6月30日(火) 1限目	まとめ	まとめ
	7月10日(金) 2限目	試験	

《科目》

歯科衛生士概論

《分野・学科》 専門分野 歯科衛生士概論

《担当講師》 専任教員

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 歯科衛生士法を知り、歯科衛生士の業務内容を理解し、医療従事者としての倫理観を持ち他職種との関わりや連携の必要性を理解する。また歯科衛生過程の一連の流れ、概念、方法論について学び実践への基礎を修得する

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯業出版 歯科衛生学シリーズ 「 歯科衛生学概論 」、資料

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	5月18日(月) 2限目	専任教員	1章 歯科衛生学とは	・歯科衛生学の定義を述べることが出来る ・歯科衛生活動についてその対象と領域を説明できる
2	5月21日(木) 2限目		2章 歯科衛生の歴史	・歯科衛生および歯科衛生士の誕生について概要を説明できる
3	5月25日(月) 4限目		3章 歯科衛生活動のための理論	・予防の概念を知り、歯科衛生の考え方を理解する
4	6月3日(水) 2限目		4章 歯科衛生過程	・活用意義を理解し、歯科衛生過程を説明できる
5	6月16日(火) 2限目		4章 歯科衛生過程	・歯科衛生アセスメント、診断、計画立案、介入、評価を説明できる ・POS、SOAPを概説できる
6	6月17日(水) 2限目		5章 歯科衛生士法と歯科衛生業務	・歯科衛生士法に基づく歯科衛生士業務について理解する ・歯科衛生士の役割と安全管理について理解する
7	6月23日(火) 4限目		6章 歯科衛生士と医療倫理	・倫理の必要性を理解し、医療倫理とは何かを説明できる
8	6月29日(月) 4限目		7章 歯科衛生士の活動と組織 8章 海外における歯科衛生士 まとめ	・歯科衛生活動の種類や業務を知り、社会・組織としての活動を説明できる ・海外における歯科衛生士業務内容を知る ・まとめ
	7月17日(金) 2限目		試験	

《科目》

歯科臨床概論

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 信森 浩一

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科臨床を理解する

《方法》 講義：11回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 「 歯科衛生士のための歯科臨床概論 第2版 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月20日(月) 3限目	歯科医療	医療と診療の意味、歯科臨床とは、医の倫理とインフォームドコンセント、歯科医療の特異性、歯科診療従事者の種類と役割
2	4月27日(月) 3限目	歯科患者	患者の心理、患者への対応、加齢と歯科診療の特徴、小児・高齢歯科患者への対応、特殊な歯科患者への対応、在宅療養
3	5月11日(月) 3限目	歯科疾患の概要	歯牙及び歯周疾患について、歯列不正について 歯牙欠損について、顎骨について、口腔軟組織について
4	5月18日(月) 3限目	歯科診療所	歯科医療の行われる場 歯科診療所とその規模・診療分野・設備内容
5	5月25日(月) 3限目	歯科診療の流れの概要	患者受け入れ準備－受付－誘導－予診－診察－検査－説明－治療－誘導－メンテナンス、応急、救急処置、訪問診療
6	6月1日(月) 3限目	歯科保存治療の概要	歯科保存治療とは、保存修復、歯内療法
7	6月8日(月) 3限目	歯周治療の概要	歯周疾患について、歯周治療の流れ、歯科衛生士の役割
8	6月15日(月) 3限目	歯科補綴治療の概要	歯科補綴治療とは、クラウン・ブリッジの治療の流れ 有床義歯治療の流れ
9	6月22日(月) 3限目	小児歯科治療の概要	小児歯科とは、小児の特徴と小児及び保護者への対応 小児歯科診察の特徴、歯科保健指導
10	6月29日(月) 3限目	矯正歯科治療の概要	矯正歯科治療とは、不正咬合の種類、診断及び治療方針の決定 矯正歯科治療における経過
11	7月6日(月) 3限目	口腔外科治療の概要	口腔外科とは、口腔領域の各種疾患、口腔外科における治療内容・診査、口腔外科の対象となる患者、口腔外科と歯科衛生士
	7月13日(月) 2限目	試験	

《科目》

臨床検査

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 羽原 利幸 ・ 松田 浩明

《目的》 臨床検査を通して患者の診断、及び治療経過を判断するのに役立つことを理解する

《方法》 講義(実習)：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「臨床検査」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	11月20日(金) 3限目	羽原 利幸	臨床検査の倫理と安全	臨床検査の倫理と完全を理解し検査成績を読み理解する
2	12月4日(金) 3限目			
3	12月8日(火) 4限目	松田 浩明	生体検査(生理機能検査)	患者の身体を直接調べ、身体のバイタルサインを理解する
4	12月15日(火) 4限目			
5	1月8日(金) 3限目	羽原 利幸	検体検査	患者から取り出した検体を検査し、身体の状態を理解する
6	1月15日(金) 4限目			
7	1月22日(金) 4限目			
8	1月29日(金) 3限目		主な疾患・病能別検査値の とらえ方(実習)	具体的に主な疾患の症状 検査所見を理解する
	2月5日(金) 2限目		試験	

《科 目》

歯科放射線学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 重森 俊文 <実習> 柏原 誠二

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 放射線学の基本的知識を理解し、正しいX線撮影法を実習を通して修得する

《方法》 講義(実習)：10回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯科放射線学 第2版」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	9月17日(木) 4限目	重森 俊文	放射線の基礎知識	エックス線の性質と利用法。放射線防護
2	9月24日(木) 4限目		口内法撮影1.	撮影装置と各種撮影方法
3	10月8日(木) 4限目		口内法撮影2.	実際の撮影手順と写真処理
4	10月15日(木) 4限目		口外法撮影1.	パノラマエックス線撮影の特徴と撮影手順
5	10月22日(木) 4限目		口外法撮影2.	歯科用コーンビームCTとその他の撮影法
6	10月29日(木) 4限目		エックス線写真の読影	エックス線写真の正常像・異常像と放射線治療
7・8	11月12日(木) 3・4限目	重森 俊文 柏原 誠二	口内法撮影 (相互実習)	歯科用エックス線撮影実習、デジタル画像処理、アナログフィルムの現像と読影
9・10	11月26日(木) 3・4限目	重森 俊文 柏原 誠二	口外法撮影 (相互実習)	パノラマエックス線撮影実習、デジタル画像処理と読影
	後期試験期間		試験	

《科目》

保存修復学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 前田 かや 〈実習〉 塩崎 高志 ・ 田中 宏明

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯の保存治療（主に修復）の基本的な知識及び治療を理解する

《方法》 講義（実習）：10回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「保存修復学・歯内療法学」
プリント、DVD

《評価方法》 実習と後期試験及び小テスト

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月30日(水) 3限目	前田 かや	講義	医療面接、口腔検査、硬組織疾患、う蝕病態 P2~P24
2	10月7日(水) 3限目		"	歯間分離、歯肉排除、隔壁法、仮封 P33~P39 ホワイトニング P71~P78
3	10月14日(水) 3限目		"	窩洞の構造、分類、条件 P25~P28 歯の切削、歯髄保護 P40~P48
4	10月21日(水) 3限目		"	間接法修復 P46 ~P70
5	10月28日(水) 3限目		"	直接法修復 P79 ~P105 補修修復 P106~P110
6	11月4日(水) 3限目		"	実習の準備、手順 (動画)
7・8	11月11日(水) 3・4限目	前田 かや 塩崎 高志	実習	1 (B) アイオノマー ・ 2 (M) CR ・ 6 (MO) CR
9・10	11月18日(水) 3・4限目	田中 宏明	"	6 (O) インレー (シルバー)
	後期試験期間		試験	

《科 目》

歯科材料学

《分野・学科》 専門分野 歯科材料学

《担当講師》 喜田 剛介

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目 的》 歯科衛生士として必要な歯科材料の特性と使用方法を理解する

《方 法》 講義：9回 試験：1回

《時 期》 第1学年 後期

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「 歯科材料 」 「 歯科診療補助論 第2版 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	12月1日(火) 4限目	講 義	講義説明・総論1
2	12月8日(火) 3限目	講 義	総論2
3	12月15日(火) 3限目	講 義	印象材1
4	1月12日(火) 3限目	講 義	印象材2
5	1月19日(火) 3限目	講 義	石膏
6	1月26日(火) 3限目	講 義	合着材・接着剤
7	2月2日(火) 3限目	講 義	成形修復材
8	2月9日(火) 3限目	講 義	仮着材・仮封材・WAX
9	2月16日(火) 3限目	講 義	まとめ・総括
	後期試験期間	試 験	

《科目》

齧蝕予防処置

《分野・学科》 専門分野 歯科予防処置論

《担当講師》 小川 由希子・松山 繁樹・ウェルテック

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科衛生士にとって必要な齧蝕予防の為の知識の修得と実習を行う

《方法》 講義（実習）：12回 試験：1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 」

《評価方法》 小テスト・試験の成績を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月25日(金) 3限目	松山 繁樹	歯科予防処置論	歯科予防処置の内容
2	10月9日(金) 3限目		フッ化物の基礎	フッ化物の性質・毒性
3	10月16日(金) 3限目		フッ化物の応用	フッ化物の歯面塗布・フッ化物の洗口法
4・5	10月23日(金) 3・4限目		フッ化物塗布 (相互実習)	フッ化物溶液の局所塗布、フッ化物トレー法のデモ、イオントレーに含まれる溶液の確認
6	11月5日(木) 3限目	小川 由希子	歯科予防処置の 基礎	歯科予防処置概論 基礎知識
7	12月3日(木) 3限目		小窩裂溝填塞法	小窩裂溝填塞法の特徴・適応・処置の手順
8	12月3日(木) 4限目		う蝕活動性試験	う蝕活動性試験の種類・方法
9・10	12月17日(木) 3・4限目		小窩裂溝填塞法 (相互実習)	小窩裂溝填塞法とう蝕活動性試験の手順・手技
11・12	1月15日(金) 1・2限目	ウェルテック	講義・実習	う蝕・歯周病予防のためのプラークコントロール プロフェッショナルケアとホームケア
	後期試験期間		試験	

《科 目》

予防的歯石除去法Ⅰ・予防的歯石除去法実習Ⅰ

《分野・学科》 専門分野 歯科予防処置論

《担当講師》 専任教員

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 歯科衛生士の三大業務「歯科予防処置」の中の歯石除去法・技術を修得する

《方法》 講義：8回 実習：30回 試験：2回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」

《評価方法》 筆記試験・実技試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

回	月日(曜)	時間	内 容	方法	場所	担当
1	6/10(水)	2限目	序説 歯科予防処置論の概要	講義	実習室	専任
2	6/18(木)	2限目	基礎知識・手用スケーラーについて	講義	実習室	専任
3	7/ 6(月)	2限目	シッケルタイプスケーラーによる基礎実習	講義	実習室	専任
4	7/13(月)	3限目	スケーラーの取扱い/マネキン実習	講義	実習室	専任
5	9/ 3(木)	2限目	基本訓練(1・2相)	実習	実習室	専任
6	9/ 4(金)	1限目	基本訓練(3・4相)	実習	実習室	専任
7	9/17(月)	1限目	基本訓練・マネキン実習 3+3(上顎唇側)	実習	実習室	専任
8	9/17(月)	2限目	3+3(上顎口蓋側)	実習	実習室	専任
9	9/18(金)	2限目	3+3(下顎唇側)	実習	実習室	専任
10	9/28(月)	2限目	3+3(下顎舌側)	実習	実習室	専任
11	10/ 2(金)	1限目	4~7(左下頬側)	実習	実習室	専任
12	10/ 2(金)	2限目	4~7(左下舌側)	実習	実習室	専任
13	10/ 7(水)	1限目	4~7(左上頬側)	実習	実習室	専任
14	10/ 9(金)	1限目	4~7(左上口蓋側)	実習	実習室	専任
15	10/15(木)	1限目	7~4(右下頬側)	実習	実習室	専任
16	10/16(金)	1限目	7~4(右下舌側)	実習	実習室	専任
17	10/19(月)	2限目	7~4(右上頬側)	実習	実習室	専任
18	10/23(金)	1限目	7~4(右上口蓋側)	実習	実習室	専任
19	10/28(水)	1・2限目	スケーラーシャープニング講義・実習	講義	実習室	専任
20				実習		
	11/ 2(月)	1限目	シッケルタイプスケーラーの基本訓練実技試験	試験	実習室	専任
	11/ 2(月)	2限目	シッケルタイプスケーラー筆記試験	試験	教室	専任
21	11/ 2(月)	3限目	歯面研磨の講義	講義	教室	専任
22・23	11/ 6(金)	1・2限目	歯面研磨相互実習	実習	診療室	専任
24	11/10(火)	2限目	シッケルタイプスケーラー相互実習・歯面研磨	講義	教室	専任
25・26	11/16(月)	1・2限目	除石・研磨相互実習 3+3(上顎前歯)	実習	診療室	専任
27・28	11/17(火)	1・2限目	3+3(下顎前歯)	実習	診療室	専任
29・30	11/30(月)	1・2限目	4~7(左側下顎白歯)	実習	診療室	専任
31・32	12/ 9(水)	1・2限目	4~7(左側上顎白歯)	実習	診療室	専任
33・34	12/16(水)	1・2限目	7~4(右側下顎白歯)	実習	診療室	専任
35・36	1/13(水)	1・2限目	7~4(右側上顎白歯)	実習	診療室	専任
37・38	2/ 1(月)	1・2限目	総復習	実習	診療室	専任

《科目》

歯科保健指導Ⅰ・実習Ⅰ

《分野・学科》 専門分野 歯科保健指導論

《担当講師》 横井健朗・専任教員・株式会社モリタ

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科衛生士の三大業務「歯科保健指導」について学ぶ

《方法》 講義：18回 実習：15回 試験：3回

《時期》 第1学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」

《評価方法》 筆記試験・実技試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/23(木)	2限目	歯科保健指導論の概要	講義	教室	専任
2	4/30(木)	2限目	口腔の基礎知識	講義	教室	専任
3	5/11(月)	2限目	う蝕と歯周病の基礎知識	講義	教室	専任
4	5/14(木)	2限目	口腔衛生管理に関わる指導	講義	教室	専任
5	5/20(水)	2限目	口腔衛生管理に関わる指導(ブラッシング)	講義	教室	専任
6	5/25(月)	1限目	ブラッシング方法習得実習(毛先法)	実習	実習室	専任
7	5/25(月)	2限目	ブラッシング方法習得実習(脇腹法)	実習	実習室	専任
8	6/4(木)	2限目	" (復習・保健指導話法)	実習	実習室	専任
	6/8(月)	2限目	ブラッシング筆記試験	試験	教室	専任
	6/19(金)	1・2限目	ブラッシング実技試験	試験	各場所	専任
9	9/1(火)	2限目	その他の清掃方法(清掃補助用具)	講義	教室	専任
10	9/25(金)	1限目	その他の清掃方法(洗口液・保温剤)	講義	教室	専任
11	10/5(月)	2限目	その他の清掃方法実習(清掃補助用具・洗口液等)	実習	実習室	専任
12	10/26(月)	2限目	食品とう蝕誘発性、歯周病・酸蝕症と食生活、咀嚼と食品	講義	教室	専任
13	10/27(火)	2限目	口腔清掃状態の評価(分析のためのデータ)①	講義	教室	専任
14	11/9(月)	2限目	口腔清掃状態の評価(分析のためのデータ)②	講義	教室	専任
15	11/13(金)	1・2・3限目	口腔内の汚れを調べる実習①	実習	診療室	専任
16			口腔内の汚れを調べる実習①(レポート)	実習	実習室	専任
17			口腔機能管理に関わる指導	講義	教室	専任
18	11/18(水)	1限目	口腔内の汚れを調べる実習②(電動歯ブラシ)	講義	教室	モリタ
19	11/20(金)	1限目	配慮を要する者への歯科衛生介入 要介護高齢者	講義	教室	専任
20	11/24(火)	2限目	配慮を要する者への歯科衛生介入 障害児者	講義	教室	専任
21	11/27(金)	1限目	" 大規模災害被災者	講義	教室	専任
22	12/7(月)	2限目	生活習慣病について	講義	教室	専任
23	12/8(火)	2限目	生活習慣病予防原稿・レイアウト作成	講義	教室	専任
24	12/14(月)	2限目	"	講義	教室	専任
25	1/18(月)	2限目	"	講義	教室	専任
26	1/20(水)	2限目	"	実習	実習室	専任
27	1/22(金)	1限目	生活習慣病予防媒体作成	講義	教室	専任
28		2限目	プロービング・歯間離開診査・動揺度検査・電気歯髓診断器	講義	教室	横井
29		3限目	プロービング・歯間離開診査 マネキン実習	実習	実習室	専任
30	1/29(金)	1・2限目	プロービング・歯間離開診査	実習	診療室	横井 専任
31			相互実習(電気歯髓診：示説)			
	後期試験期間		後期試験	試験	教室	専任
32	2/17(水)	1・2限目	生活習慣病予防媒体作成・完成	実習	実習室	専任
33						

《科目》

診療補助Ⅰ・実習Ⅰ

《分野・学科》 専門分野 歯科診療補助

《担当講師》 池田 量・卜部雅嗣・平地正茂・平田一成・日野泰樹・宇田航希・専任教員

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 重要な歯科衛生士業務の一つである診療補助についての基本的な知識を修得し、実習を通して専門的業務を理解する

《方法》 講義：16回 実習：41回 試験：2回

《時期》 第1学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科診療補助論」「歯科材料」「歯科機器」

《評価方法》 筆記試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	5/7(木)	2限目	歯科診療補助の概念	講義	教室	専任
2	5/12(火)	4限目	一般診療用器械・検別器械 一般診療用器械の実習	実習	診療室	専任
3	5/28(木)	2限目	医療安全と感染予防	講義	教室	専任
4	6/1(月)	4限目	綿球・吸温ロール・カット線の作製実習	実習	実習室	専任
5	6/2(火)	4限目	手指の消毒・滅菌・消毒器材 手指の消毒・滅菌・消毒器材の実習	実習	診療室	専任
6	6/8(月)	4限目	歯科診療における基礎知識①・受付対応	講義	教室	専任
7	6/11(木)	1・2限目	共同動作①患者誘導・位置・ライティング・ フォーハンドデッドデンティストリー	実習	診療室	専任
8						
9	6/15(月)	2限目	共同動作②パキューム・口腔洗浄	講義	教室	専任
10	6/17(水)	4限目	歯科材料①印象材・②模型材(歯科用石膏)	講義	教室	卜部
11	6/23(火)	3限目	マネキンでのパキュームの実習	実習	実習室	専任
12	6/28(金)	1・2限目	共同動作③パキューム操作・口腔洗浄・粘膜の消毒・相互実習	実習	診療室	専任
13						
14	6/28(金)	4限目	印象材・模型材の取り扱い	講義	教室	専任
15	6/29(月)	1・2限目	アルジネート印象材の取扱(全顎) マネキンで印象採得・歯科用石膏(合同実習)	講義	実習室	専任 2年生
16						
17	7/1(水)	2限目	歯科材料③ 合着剤・接着剤・仮封材	講義	教室	宇田
18	7/2(木)	1・2限目	印象材・模型材の取扱(片顎) マネキンでの印象採得・歯科用石膏	実習	実習室	専任
19						
20	7/7(火)	1・2限目	印象材・模型材の取扱相互実習① (片顎印象:アルジネート印象材)	実習	診療室	専任
21						
22	7/8(水)	1・2限目	印象材・模型材の取扱相互実習② (全顎印象:アルジネート印象材)	実習	診療室	宇田 専任
23						
24	7/15(水)	2限目	歯科材料③合着剤・接着剤・仮封材実習	実習	実習室	専任
25	9/2(水)	1・2限目	印象材・模型材の取扱相互実習③ (全顎印象:アルジネート印象材)	実習	診療室	池田 専任
26						
前期試験期間			前期試験	試験	教室	専任
27	9/18(金)	3・4限目	歯科材料③合着剤・接着剤の取り扱い・セメント除去 仮封材の取り扱い実習	実習	実習室	専任
28						
29	9/29(火)	1・2限目	合着用セメントの取り扱い実習(合同実習)	実習	実習室	専任 2年生
30	9/30(水)	1限目	業務記録	講義	教室	専任
31	9/30(水)	2限目	口腔診査(口腔概診)	講義	教室	専任
32	10/1(木)	2限目	マイクロモーターの取り扱い	講義	実習室	専任
33	10/7(水)	2限目	歯科材料④ 成形歯冠修復材(CR) 仮封材(TEC)	講義	教室	日野
34	11/4(水)	1・2限目	歯科材料⑤-1 TEC 修復材(レジン:既製冠を使用して単冠) 暫間被覆冠の実習①	実習	実習室	日野 専任
35						
36	11/11(水)	1限目	歯科材料⑥ 歯科用ワックス・金属・セラミックス	講義	実習室	日野
37	11/25(水)	1・2限目	歯科材料⑤-2 修復材(レジン:則直レジンを使用して単冠) 暫間被覆冠の実習②	講義	実習室	日野 専任
38						
39	11/26(木)	2限目	歯科診療の基礎知識② 歯肉圧排・歯間分離・ラバーダム防湿	講義	教室	平田
40	12/1(火)	2限目	歯科診療の基礎知識② 歯肉圧排・歯間分離のマネキン実習	実習	実習室	専任
41	12/15(火)	1・2限目	ラバーダム防湿(有翼/無翼) マネキン実習	実習	実習室	専任
42						
43	12/17(木)	1・2限目	ラバーダム防湿(有翼/無翼) 相互実習	実習	診療室	平田 専任
44						
45	1/8(金)	4限目	歯科診療の基礎知識③ 口腔内写真撮影(講義・示説)	講義	診療室	専任
46	1/25(月)	1・2限目	口腔概診・口腔内写真撮影実習①	実習	診療室	専任
47						
48	1/27(水)	1・2限目	口腔概診・口腔内写真撮影実習②	実習	診療室	専任
49						
50	2/2(火)	2限目	寒天印象材・シリコン印象材の取り扱い	講義	実習室	専任
51	2/3(水)	1限目	口腔内写真データ処理	講義	実習室	専任
52	2/4(木)	3・4限目	印象材・模型材の取扱実習 (寒天アルジネート連合印象・シリコン印象)	実習	実習室	平地 専任
53						
54	2/10(水)	1・2限目	印象材(相互)実習復習(56・57回用模型作製) (全顎印象:アルジネート印象材・歯科用石膏)	実習	診療室	専任
55						
56	3/11(木)	3・4限目	歯科材料の応用実習 模型作製〜トリミング・個歯トレーの作製	実習	実習室	平地 専任
57						
後期試験期間			後期試験	試験	教室	専任

《科目》

看護学

《分野・学科》 専門分野 歯科診療補助論

《担当講師》 児島 敏恵

《目的》 歯科衛生士が最小限知っておきたい看護の必要な知識を学ぶ

《方法》 講義(実習):10回 試験:1回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 「 歯科衛生士のための看護学大意 第4版 」、プリント

《評価方法》 授業態度・筆記試験・実習態度・課題提出物

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	9月25日(金) 2限目	看護の概念	・看護の歴史を知る ・看護の定義・対象・目標・役割を理解する
2	10月9日(金) 2限目	病院における歯科衛生士の役割	・高齢化社会に伴う疾病構造の変化を理解する ・歯科衛生士の活動の場を理解する ・診療所、病院の種類と役割を理解する
3	10月16日(金) 2限目	歯科衛生士が知っておくべき看護技術	・患者と患者とのコミュニケーションに必要な基礎知識を理解する ・患者への接し方がわかる ・患者の安全と安楽に必要な技術がわかる(安楽な体位の工夫) ・食べることの意義と摂食方法への援助がわかる ・その他の看護技術(嚥法・吸入、吸引)がわかる
4	10月30日(金) 2限目	歯科衛生士に必要な看護実務	・患者の観察と記録についてわかる ・外来の特徴と入院を要する患者の看護がわかる ・医療事故の現状がわかり、安全対策を理解する
5	11月20日(金) 2限目	地域医療活動における歯科衛生士の役割	・地域社会における看護のあり方を理解する ・保健、医療、福祉チームとの連携の意義を理解する ・在宅医療における歯科衛生士の役割を理解する ・医療チームの中の歯科衛生士の役割を理解する
6	11月27日(金) 2限目	歯科衛生士が知っておくべき看護技術	・バイタルサイン(体温・脈拍・呼吸・血圧)の機能と正常と異常を理解する ・バイタルサインの測定方法を理解する
7・8	12月4日(金) 1限目	バイタル測定の実習	体温、脈拍、呼吸、血圧測定の実技実習 バイタルサインの測定方法を理解する
	12月4日(金) 2限目	バイタル測定の実習	
9・10	12月11日(金) 1限目	薬剤の準備	・薬物の確認(6R)3回確認を理解する ・注射の準備と滅菌物の取り扱いができる (針、注射器、アンプルカット、薬剤の吸い上げ、空気の抜き方)
	12月11日(金) 2限目	実習	
	1月12日(火) 2限目	試験	

《科目》

手話

《分野・学科》 選択必須分野

《担当講師》 高橋 かおる・山中 真美

《目的》 聴覚障害者が歯科予防、治療を受ける際、手話があると、どんなにか安心でしょう
より良い保健医療を提供する為に手話コミュニケーション基礎知識と歯科医療の専門手話を修得する

《方法》 講義・実習：8回 試験：1回

《時期》 第1学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 オリジナルテキスト

《評価方法》 手話表現、読み取り、授業態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月14日(火) 2限目	手話の学習を始める前に	「名前の表し方」 聴覚障害について 指文字
2	4月21日(火) 2限目	復習・講義・演習	「挨拶表現」 数詞、手話とはどんなことばか
3	4月28日(火) 2限目	復習・講義・演習	「家族の表現」 時の表し方
4	5月12日(火) 2限目	復習・講義・演習	「生年月日の表現」 聴覚障害による社会生活の困難さについてみんなで考えてみよう
5	5月19日(火) 2限目	復習・講義・演習	「仕事の表現」 障害者差別解消法、合理的配慮について
6	5月26日(火) 2限目	復習・講義・演習	「住所の表現」 手話表現の基礎知識をしっかりと学習し、次回から歯科医療に関する手話を習得
7	6月2日(火) 2限目	復習・講義・演習	「歯科医療に関する表現」 患者からの訴え、歯科衛生士さんからの問いかけ
8	6月9日(火) 2限目	試験に向けてまとめ	模擬会話、試験にむけて復習、まとめ
	6月23日(火) 2限目	試験	

《科目》

現代マナー (接遇)

《分野・学科》 選択必須分野

《担当講師》 甲斐 滋美

《目的》 社会人として、また医療人として、あるべき姿を考え、習わしなども取り入れながら生活に基づいた望ましい形を学び、それ等を自分のものとして身につけていく

《方法》 講義：8回

《時期》 第1学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 「かたちとこころのマナー」 田中 節子編

《評価方法》 一人ひとりの発表・実技の回数を多くし、個々の力を伸ばし見つめていく

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	9月28日(月) 1限目	マナー概論	礼儀・作法・方法・習慣などについて考えマナーの本質についての理解を深める
2	10月5日(月) 1限目	美しい立ち居振る舞い	社会人としての在り方・行動について考え、美しく生きる姿勢を身につける
3	10月19日(月) 1限目	訪問の心得	お付き合いの大切さを知り、具体的に場に応じた動作を身につける
4	10月26日(月) 1限目	訪問の心得2	会話訪問や面接の知識
5	11月9日(月) 1限目	贈答の心得	場に応じた正しい敬語の使い方を学ぶ
6	12月7日(月) 1限目	美しい言葉づかい	電話対応の基本及び実践的な知識を学ぶ
7	12月14日(月) 1限目	会話・紹介(発表)	悲しみごと全般の心得について
8	1月18日(月) 1限目	電話対応(期末テスト)	今まで学んできた事を、生かしながら、実際に話題を考え、発表することで、自身を見つめる機会とする

《科目》

公衆衛生学

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

《担当講師》 武田 尊浩

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科保健の視点での公衆歯科衛生活動ならびに地域歯科保健活動をテーマに考察する

《方法》 講義：10回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」保健生態学」

《評価方法》 授業に取り組む姿勢、試験の成績を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 4限目	地域保健・公衆衛生①	地域社会と地域保健の概念、地域保健の組織
2	4月22日(水) 4限目	地域保健・公衆衛生②	地域保健の新たな概念、地域保健活動の進め方
3	5月13日(水) 4限目	地域保健・公衆衛生③	健康づくり対策と地域歯科保健
4	5月20日(水) 4限目	母子保健	母子保健の意義および概要、母子歯科保健
5	5月27日(水) 4限目	学校保健	学校保健の意義および概要、学校保健の活動と組織、学校歯科保健
6	6月3日(水) 4限目	成人・老人保健	成人・老人保健の意義、成人・老人保健活動
7	6月10日(水) 4限目	産業保健	産業保健の概念、職業性疾病
8	6月17日(水) 4限目	精神保健	精神保健とは
9	6月24日(水) 4限目	国際保健	国際協力 口腔保健の状況
10	7月1日(水) 4限目	災害時の歯科保健	大規模災害時の保健医療 被災地での歯科保健活動
	前期試験期間	試験	

《科目》

歯科衛生統計学

《分野・学科》 専門分野 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

《担当講師》 横山 晴洋・専任教員

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科疾患の指数を理解し、説明できる

基本的な疫学、統計処理を理解し、国家保健統計について説明できる

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第2学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ

「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学」

「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」

プリント

《評価方法》 試験の結果にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月1日(火) 1限目	専任教員	歯科疾患の指数	う蝕指数(DMF)・学校保健安全法について
2	9月17日(木) 3限目		歯科疾患の指数	歯周疾患指数(PMA・PI・PDI・GI・GB・GPI・CPI)について
3	10月15日(木) 3限目		歯科疾患の指数	口腔清掃状態指数(OHI・OHI-S・PCR・PEP)について
4	10月22日(木) 3限目		歯科疾患の指数	不正咬合と歯列不正の指数・歯のフッ素症・その他の歯科保健指標
5	10月29日(木) 3限目	横山 晴洋	保健情報と疫学	疫学、有病率、罹患率、感受度、特異度、スクリーニング 記述疫学、分析疫学、患者対照研究、コホート研究、介入研究について理解できる
6	11月5日(木) 3限目		保健統計の方法	尺度、母集団と標本、正規分布、代表値、標準偏差、変異係数、相関、t検定、カイ二乗検定について理解できる
7	11月12日(木) 3限目		国家統計調査の概要	代表的な国家保健統計について、名称、分類、間隔、対象とその特徴が理解できる
8	11月18日(水) 3限目		国家統計調査の実際	直近の国家統計調査のデータを表およびグラフから読み取り、その内容が理解できる
	12月16日(水) 2限目		試験	

《科 目》

衛生行政・社会福祉

《分野・学科》 専門基礎分野 歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み

《担当講師》 林 宏昌

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 社会の動向や医療制度を踏まえ、歯科衛生士の役割や意義を学び、歯科医療の場で働くために必要な知識を備える

《方法》 講義：10回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み? 保健・医療・福祉の制度」

「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	4月22日(水) 1限目	衛生行政の概要	衛生行政の目的、組織と歯科衛生士法について学ぶ
2	5月13日(水) 1限目	歯科衛生士法と法律	歯科衛生士法および関連職種に関する法規を理解する
3	5月20日(水) 1限目	歯科医療関連法規	歯科口腔保健の推進に関する法律、医療法について理解する
4	5月27日(水) 1限目	関連法規	薬事に関する法規 薬事法
5	6月3日(水) 1限目	地域保健に関する法規	地域保健法、健康増進法を理解する
6	6月10日(水) 1限目	地域保健に関する法規	母子保健、学校保健について理解する
7	6月17日(水) 1限目	地域保健に関する法規	労働安全衛生法、精神保健について理解する
8	6月24日(水) 1限目	その他の衛生法規	食品衛生法、感染症法について理解する
9	7月1日(水) 1限目	社会保障	社会保障、社会保険、医療保険、介護保険、その他の社会保障を学ぶ
10	7月8日(水) 1限目	社会福祉と医療の動向	社会福祉について概説でき、医療状況の動向を把握する
	7月17日(金) 2限目	試験	

《科目》

倫理学

《分野・学科》 専門分野 歯科衛生士概論

《担当講師》 晝田 千津子

《目的》 何故、歯科衛生士は医療倫理を学ぶのか。倫理とは、何故必要か。自分自身を知り、社会のつながり、倫理を考え実践する重要性を学ぶ。視聽的態度の重要性を学び身につける

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「 歯科医療倫理学 」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	5月11日(月) 3限目	講 義	なぜ歯科衛生士は医療倫理を学ぶのか 医療倫理に関連する規範と法令
2	5月18日(月) 3限目	講 義	医療従事者の基本的義務
3	5月25日(月) 3限目	講 義	医療倫理に関する規範とバイオエシックス
4	6月1日(月) 3限目	講 義	生命の始まり、終わりに関わる倫理的問題
5	6月8日(月) 3限目	講 義	インフォームドコンセントとは
6	6月15日(月) 3限目	講 義	なぜ研究で医療倫理が必要なのか
7	6月22日(月) 3限目	講 義	歯科医療を考える上で必要な行動 QOLとは
8	6月29日(月) 3限目	講 義	その他医療従事者に必要とされること
	7月7日(火) 2限目	試 験	

「社会の関わりの中で自分で考え、認識し、実践行動する力」を毎回の授業の中で行う。

《科目》

歯内療法学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 藤井 理史

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯の保存的治療、主として歯髄及び根尖性歯周疾患を対象とし、その予防と治療の関連性を理解する

《方法》 講義（実習）：11回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ
「保存修復学・歯内療法学」

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月9日(木) 3限目	講義	歯内療法の概要① 歯内疾患の概要と原因
2	4月23日(木) 3限目	講義	歯内療法の概要② 歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の分類と症状
3	4月30日(木) 3限目	講義	歯内療法の概要③ 歯髄疾患、根尖性歯周組織疾患の処置
4	5月7日(木) 3限目	講義	歯髄の保存療法とその分類
5	5月14日(木) 3限目	講義	歯髄の除去療法とその分類
6	5月21日(木) 3限目	講義	感染根管治療・根管充填
7	6月28日(木) 3限目	講義	外科的歯内療法とその分類
8	6月4日(木) 3限目	講義	歯の外傷、歯内療法における偶発症とその安全対策
9	6月11日(木) 3限目	講義	歯内療法における歯科衛生士の役割
10・11	6月25日(木) 3・4限目	歯内療法の薬剤 器具の説明実習	療法別器材（薬材・器具） ブローチ綿栓、セメント
	前期試験期間	試験	

《科目》

歯周療法学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 佐藤 裕紀・寺島 祥充

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯周病について理解を深め、歯周療法の意味や理論を考察出来るようになる事を目指す

《方法》 講義(実習):11回 試験:1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯周病学 第2版」

《評価方法》 授業に取り組む姿勢、試験の成績等を総合的に評価判定する

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	4月9日(木) 4限目	佐藤 裕紀	歯周組織の構造と機能について	基礎科目で習得した知識を整理して、歯周組織の構造と機能との関連性について理解を深める
2	4月23日(木) 4限目		歯周疾患の病態と原因について	歯周治療の原因と成り立ちについて知識を深め、病態との関連性に関する理解を深める
3	4月30日(木) 4限目		歯周治療の進め方と診査について	歯周治療の基本的な進め方について学習し、その裏付けとなる診査・診断に関する理解を深める
4	5月7日(木) 4限目		歯周治療の進め方と診査について	歯周組織の診査について知識を深め、歯周基本治療、歯周外科治療との関連性について考察する力をつける
5	5月14日(木) 4限目		歯周基本治療について	これまでに習得した知識を整理しながら歯周基本治療の目的と内容について学習し、基礎知識と治療方法との関連性について理解を深める
6	5月21日(木) 4限目	寺島 祥充	歯周病治療の実際	実際の治療の流れの確認
7	5月28日(木) 4限目		各種歯周外来	歯周外科の手法と目的
8	6月4日(木) 4限目		DHの役割	DHの歯周病治療における役割
9	6月11日(木) 4限目		外科、固定と補綴	その他外科処置。根の形態。咬合治療と固定等
10・11	6月18日(木) 3・4限目	佐藤 裕紀 寺島 祥充	歯周治療で使用する器具の使い方について	歯周外科手術で使用する器材の種類や取り扱い方を、実際に器材に触れて理解を深める(持針器・メス等の取り扱い方)
	前期試験期間		試験	

《科目》

歯科補綴学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 岡本 信・太田 吉宣

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 歯科補綴治療の意義、基本的な知識および治療全体の流れ歯科技工操作との関連を理解する

《方法》 講義（実習）：17回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯科補綴学」

《評価方法》 試験の成績、授業態度及び実習態度にて評価

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	4月10日(金) 3限目	太田 吉宣	歯科補綴治療とは	歯科補綴治療の意義と目的、特徴、歯科補綴装置の種類と適応、歯科補綴治療における診療補助、歯科技工との関連患者に対する指導
2	4月24日(金) 3限目		歯科補綴治療とは 歯科補綴治療の基礎知識	歯科技工との関連 患者に対する指導 歯列の形態と位置的関係顎口腔系の機能
3	5月1日(金) 3限目		歯科補綴治療の基礎知識	咬合とその関連事項 歯の欠損・喪失に伴う変化・障害顎関節とその異常
4	5月8日(金) 3限目		臨床編 クラウン	クラウンの分類、臨床ステップの概説、クラウンの技工
5	5月22日(金) 3限目		臨床編 ブリッジ	ブリッジの構成と材料、臨床ステップの概要、技工操作、患者指導
6	5月29日(金) 3限目		臨床編 CAD/CAM	材料、光学印象、設計、臨床ステップの概要
7	6月5日(金) 3限目		臨床編 インプラント	診断、臨床ステップの概要
1	4月21日(火) 3限目	岡本 信	臨床編 全部床義歯	全部床義歯の分類と構成、臨床ステップと技工の概要
2	4月28日(火) 3限目		臨床編 部分床義歯	部分床義歯の分類と構成、臨床ステップと技工の概要患者指導
3	5月12日(火) 3限目		印象採得実習①	相互実習によりスタディモデル（研究模型）製作の為の下顎印象採得、歯科技工作業、スタディモデルの製作、完成
4	5月19日(火) 3限目		印象採得実習②	相互実習によりスタディモデル（研究模型）製作の為の上顎印象採得、歯科技工作業、スタディモデルの製作、完成
12・13	6月9日(火) 3・4限目	岡本 信 太田 吉宣	補綴治療に用いられる器材 特別な名称をもつ義歯	補綴治療に用いられる器材の分類と解説 治療目的により義歯の分類
14・15	6月16日(火) 3・4限目	岡本 信 太田 吉宣	補綴装置の補修、下顎運動 及び咬合の機能検査	補綴物の除去、補修の方法、顎・筋機能の検査方法
16・17	6月30日(火) 3・4限目	岡本 信 太田 吉宣	口腔機能低下症実習	口腔機能低下症 各種検査
	前期試験期間		試験	

《科目》

口腔外科学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 新木 恒猪・木村 義昭

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 口腔領域における疾患とその原因・症状・治療法、全身疾患との関連性について理解する
滅菌や消毒、口腔外科小手術、局所麻酔、救急蘇生法など基礎知識を修得し、臨床に応用させる

《方法》 講義（実習）：14回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「口腔外科学・歯科麻酔学 第2版」

《評価方法》 試験の成績にて評価

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	4月21日(火) 2限目	新木 恒猪	口腔外科の概要	歯科における口腔外科の位置づけ、顎・口腔領域の疾患の特徴、口腔病変と全身疾患
2	4月28日(火) 2限目		顎口腔領域の先天異常と発育異常	歯の発達異常、口腔軟組織の先天異常と発育異常、口唇裂・口蓋裂、顎の先天異常と発育異常
3	5月12日(火) 2限目		顎口腔領域の損傷および機能障害	軟組織の損傷、歯および歯槽の外傷 顎骨骨折
4	5月19日(火) 2限目		口腔粘膜の病変	水泡形成、紅斑およびびらん、潰瘍、白斑、色素沈着、粘膜の萎縮、口腔の乾燥、粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患
5	5月26日(火) 2限目		顎口腔領域の化膿性炎症疾患	歯周組織の炎症、顎骨周囲組織の炎症
6	6月9日(火) 2限目		顎口腔領域の嚢胞、腫瘍性疾患	顎骨に発する嚢胞、軟組織に発生する嚢胞、腫瘍とは、歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍、腫瘍類似疾患
7	6月16日(火) 2限目		唾液腺疾患口腔領域の神経疾患	唾液腺の炎症、腫瘍 唾石症など 顎口腔領域の知覚神経と運動神経の疾患について
1	4月21日(火) 4限目	木村 義昭	口腔外科治療の実際	口腔外科治療の流れ、診療と診断、清潔と不潔、創傷の処置
2	4月28日(火) 4限目		口腔外科治療の実際	口腔外科小手術、止血処置、縫合処置
3	5月12日(火) 4限目		歯科麻酔と患者管理	歯科麻酔の立場、全身評価と患者管理、局所麻酔、精神鎮痛法、全身麻酔
4	5月19日(火) 4限目		救急蘇生	歯科治療時の全身的偶発症、酸素療法、一次救命処置
5	5月26日(火) 4限目		臨床におけるDIIのかかわり	検査診断時の業務、口腔外科歯科麻酔における業務、歯科衛生士が行う術前のケアと器材の管理
6	6月2日(火) 4限目		器材について、まとめ	各手術で使用する器材、まとめ
7	6月23日(火) 4限目		実習	アシスタント技術、清潔、不潔について
	前期試験期間		試験	

《科目》

小児歯科学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 高橋 昌司

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 小児の成長・発育・発達を理解し、「口腔成育」の意義と方法を学ぶ

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「小児歯科学」

《評価方法》 試験・レポート・講義への取り組みを総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 3限目	「小児歯科学って？こどもの全身の成長発育と特徴は？」	小児歯科学とはどんな学問か説明できる。小児と成人の違いを理解し説明できる。小児の成長発育発達を理解し説明できる
2	4月22日(水) 3限目	「かおやあごのかたち、歯や歯並びかみ合わせの発育と異常」	小児歯科に必要な顔・顔面頭蓋・歯・歯列咬合の正常な成長発育変化および異常を理解する
3	5月13日(水) 3限目	「こどもの歯科的疾患」	小児歯科で取り扱う歯科的疾患を理解する。う蝕・歯周疾患・口腔軟組織異常について
4	5月20日(水) 3限目	「小児歯科診療」「小児歯科における診療補助」①	小児歯科治療の基本的考え方が理解できる。各治療法の適応症、使用機材、手順、成人歯科治療との違いを理解できる
5	5月27日(水) 3限目	「小児歯科診療」「小児歯科における診療補助」②	
6	6月5日(水) 4限目	「こどもと保護者への対応法～おりこうに治療をうけてもらうために～」	小児への対応の基本的考え方を理解できる。小児を取り巻く環境を理解し対応ができる。小児の発達を理解し、個々の小児に対応できる
7	6月10日(水) 3限目	「咬合誘導ってなに？～保隙と咬合誘導～」	咬合誘導について説明できる。保隙の意義、保隙装置について理解し説明できる
8	6月17日(水) 3限目	「小児歯科における歯科衛生士の役割」「小児の口腔保健管理」	歯科衛生士の役割と重要性を理解し説明できる。小児歯科保健の基本的な考え方が理解できる。小児期のう蝕予防法の機序を理解し実施できる。歯科保健指導の留意点とプロセスを説明できる。リコールの意義を理解し、システムを説明できる
	前期試験期間	試験	

《科目》

歯科矯正学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 小川 晴也

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 矯正歯科診療の治療内容を理解し、器具の名称・用途等についての知識を修得する

《方法》 講義：12回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「歯科矯正学 第2版」

《評価方法》 講義出席日数・試験の成績にて評価

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月15日(水) 2限目	歯科矯正学とは	矯正歯科治療の目的、流れ
2	4月22日(水) 2限目	成長発育	頭部・顎・顔面ならびに歯・歯列の成長発育
3	4月28日(火) 1限目	正常咬合と不正咬合	正常咬合と不正咬合の理解
4	5月13日(水) 2限目	矯正歯科診断	矯正歯科診断に必要な検査から診断までの流れ
5	5月20日(水) 2限目	矯正歯科診断	矯正力・顎整形力・保定
6	5月27日(水) 2限目	矯正装置	矯正装置の種類と使用目的
7	6月3日(水) 2限目	上下顎の不調和	上下顎の前後的不調和と垂直的關係の不調和
8	6月10日(水) 2限目	口腔顎顔面の形成異常と変形	口唇・口蓋裂、不正咬合をもたらす症候群、顎変形症
9	6月17日(水) 2限目	矯正歯科用器具と材料	使用する器具と材料とその取り扱い方
10	6月24日(水) 2限目	矯正歯科患者と口腔保健管理	矯正患者の口腔衛生管理
11	7月1日(水) 2限目	口腔筋機能療法(MFT)	MFTの指導による口腔習癖の改善
12	7月8日(水) 2限目	まとめ	歯科矯正学において重要な部分を総括
	前期試験期間	試験	

《科目》

障がい者歯科学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 門利 哲也

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 「障がい」とは？「障がい者歯科」とは？を理解する
わたしたちに何ができるか？を考える

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「障害者歯科学 第2版」

《評価方法》 出席率と授業態度、レポートと筆記試験の成績を総合して行う

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	授業内容・到達目標
1	4月14日(火) 3限目	1章	『障がい』って、なに？ 障がいの定義
2	5月26日(火) 3限目	2章-1	主な障がい。障がいを引き起こす疾患①
3	6月2日(火) 3限目	2章-2	主な障がい。障がいを引き起こす疾患②
4	6月19日(金) 3限目	2章-3	主な障がい。障がいを引き起こす疾患③
5	6月24日(水) 3限目	3章	障がい者への歯科治療（スペシャルニーズデンティストリー）
6	7月1日(水) 3限目	4章	障がい者への健康支援と口腔衛生管理
7	7月8日(水) 3限目	5章	障がい者と「食べる」「飲み込む」
8	7月15日(水) 3限目	6章	地域における障がい者歯科 地域連携の必要性
	前期試験期間	試験	

《科目》

高齢者歯科学

《分野・学科》 専門分野 臨床歯科医学

《担当講師》 藤原 里美・藤原 千尋

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 歯科衛生士業務を行うために必要な高齢者の身体的、心理的特徴と歯科治療を理解する

《方法》 講義（実習）：9回 試験：1回

《時期》 第2学年 前期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「 高齢者歯科学 」
末永書店 歯科衛生士講座 「 高齢者歯科学 第4版 」

《評価方法》 試験の成績

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	5月7日(木) 2限目	藤原 里美	高齢者を取りまく 社会と環境	高齢化社会を理解する。介護保険制度の概要を理解できる
2	5月14日(木) 2限目		加齢による具体的 精神的変化と疾患	認知症について説明できる。認知症ケアについて理解する
3	5月21日(木) 2限目		高齢者の状態の把握	高齢者の全身疾患を理解する。高齢者の生活機能を評価できるようになる
4	5月28日(木) 2限目	藤原 千尋	口腔ケア	高齢者の口腔ケアについて説明できる。有病者、要介護高齢者の口腔ケアが説明できる
5	6月4日(木) 2限目		摂食嚥下 リハビリテーション	誤嚥性肺炎について説明できる。摂食嚥下リハビリテーションの流れを説明できる
6	6月11日(木) 2限目		高齢者に関わる医療 と介護	在宅訪問診療における歯科衛生士の役割について説明できる
7	6月18日(木) 2限目		高齢者歯科における 歯科衛生過程	高齢者歯科における歯科衛生業務で歯科衛生過程を活用できる
8	6月25日(木) 2限目		オーラルマネジメント (口腔健康管理)	口腔健康管理を説明できる。各ステージにおける歯科衛生士の役割を理解する
9	7月2日(木) 2限目		実習	事例を用いて歯科衛生士ケアプランが作成できる
	前期試験期間		試験	

《科目》

予防的歯石除去法Ⅱ・予防的歯石除去法実習Ⅱ

《分野・学科》 専門分野 歯科予防処置論

《担当講師》 専任教員・ハクスイ貿易

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 歯科衛生士の三大業務「歯科予防処置」の中の歯石除去法・技術を修得する

《方法》 講義：14回 実習：30回 試験：2回

《時期》 第2学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」

《評価方法》 筆記試験・実技試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/8(水)	3限目	序説 基礎知識	講義	教室	専任
2	4/23(木)	1限目	キュレットタイプスクレーラーによる基礎知識	講義	教室	専任
3	4/27(月)	2限目	基本訓練について	実習	実習室	専任
4	5/7(木)	1限目	"	実習	実習室	専任
5	5/11(月)	2限目	マネキン訓練 (B) 3ト3	実習	実習室	専任
6	5/12(火)	1限目	マネキン訓練 (L) 3ト3	実習	実習室	専任
7	5/14(木)	1限目	マネキン訓練 (B) 3ト3	実習	実習室	専任
8	5/18(月)	1限目	マネキン訓練 (P) 3ト3	実習	実習室	専任
9	5/18(月)	2限目	前歯部総復習	実習	実習室	専任
10	5/19(火)	1限目	マネキン訓練 (B) 4～7	実習	実習室	専任
11	5/21(木)	1限目	マネキン訓練 (P) 4～7	実習	実習室	専任
12	5/26(火)	1限目	マネキン訓練 (B) 4～7	実習	実習室	専任
13	5/28(木)	1限目	マネキン訓練 (L) 4～7	実習	実習室	専任
14	6/2(火)	1限目	左側総復習	実習	実習室	専任
15	6/4(木)	1限目	マネキン訓練 (B) 7～4	実習	実習室	専任
16	6/5(金)	2限目	マネキン訓練 (P) 7～4	実習	実習室	専任
17	6/11(木)	1限目	マネキン訓練 (B) 7～4	実習	実習室	専任
18	6/16(火)	1限目	マネキン訓練 (L) 7～4	実習	実習室	専任
19	6/18(木)	1限目	右側総復習	実習	実習室	専任
20	6/22(月)	1限目	実技試験説明	講義	実習室	専任
21	6/23(火)	1限目	試験形式での総復習①	実習	実習室	専任
22	6/25(木)	1限目	試験形式での総復習②	実習	実習室	専任
23	6/26(金)	1・2限目	シャープニング実習 (ハクスイ貿易)	実習	実習室	ハクスイ
24						
25		3・4限目	"	実習	実習室	ハクスイ
26						
27	6/30(火)	1・2限目	キュレットタイプスクレーラーマネキン実技試験	試験	実習室	専任
28	7/3(金)	3限目	キュレットタイプスクレーラー筆記試験	試験	教室	専任
29	9/17(木)	1・2限目	キュレットスクレーラー相互実習①	実習	診療室	専任
30	9/18(金)	1・2限目	キュレットスクレーラー相互実習②	実習	診療室	専任
31						
32	9/24(木)	2限目	超音波・エアスクレーラーの相互実習説明	実習	実習室	専任
33	9/28(月)	1・2限目	超音波・エアスクレーラーの相互実習 7ト7	実習	実習室	専任
34						
35	9/30(水)	1・2限目	超音波・エアスクレーラーの相互実習 7ト7	実習	実習室	専任
36						
37	9/30(水)	3限目	超音波・エアスクレーラーの復習	講義	教室	専任
38	10/8(木)	2限目	歯科衛生過程Ⅰ	講義	教室	専任
39	10/15(木)	2限目	"Ⅱ	講義	教室	専任
40	10/19(月)	1限目	"Ⅲ	講義	教室	専任
41	10/21(水)	2限目	歯科衛生過程Ⅳ	講義	教室	専任
42	10/29(木)	2限目	歯科衛生過程Ⅴ	講義	教室	専任
43	11/4(水)	2限目	総復習①	講義	教室	専任
44	11/11(水)	3限目	総復習②	講義	教室	専任

《科 目》

歯科保健指導Ⅱ・実習Ⅱ

《分野・学科》 専門分野 歯科保健指導論

《担当講師》 専任教員

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目 的》 集団、個人を対象とする歯科保健指導の知識・技能を修得する

《方 法》 講義：18回 実習：16回 試験：2回

《時 期》 第2学年

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」

《評価方法》 実技試験・提出物の成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時 間	授 業 内 容・到 達 目 標	方 法	場 所	担 当
1	4/ 8(水)	2限目	ライフステージ(グループワーク)	講義	教 室	専任
2	4/13(月)	1限目	ライフステージ(ワークシート作成)	講義	教 室	専任
3	4/13(月)	2限目	ライフステージ	講義	教 室	専任
4	4/20(月)	1限目	ライフステージ(原稿作成)	講義	教 室	専任
5	4/20(月)	2限目	ライフステージ	講義	教 室	専任
6	4/27(月)	1限目	ライフステージ	講義	教 室	専任
7	4/30(木)	1限目	ライフステージ	講義	教 室	専任
8	4/30(木)	2限目	ライフステージ	講義	教 室	専任
	5/ 8(金)	1・2限目	ライフステージ別グループワーク発表	試験	各教室	専任
9	5/25(月)	1限目	全身の健康状態と認知機能の把握・生活環境と生活習慣	講義	教 室	専任
10	6/ 3(水)	3限目	口腔の器質的問題・口腔の機能的問題	講義	教 室	専任
11	6/ 9(火)	1限目	口腔機能の評価、演習	講義	実習室	専任
12	6/22(月)	4限目	総合診療実習用チャート(成人用)説明	講義	実習室	専任
13	6/23(火)	4限目	レイアウト・原稿作成	講義	実習室	専任
14	7/ 2(木)	1限目	レイアウト・原稿作成	講義	実習室	専任
15	7/ 2(木)	3限目	色付け	講義	実習室	専任
16	7/ 7(火)	3限目	色付け	講義	実習室	専任
17	7/ 9(木)	3限目	原稿清書・チャート提出	講義	実習室	専任
18	7/14(火)	3限目	幼稚園実習説明	講義	教 室	専任
19	9/15(火)	2限目	役割決め・流れ決定	実習	実習室	専任
20	9/15(火)	3限目	各役割原稿作成	実習	実習室	専任
21	9/16(水)	1限目	ペープサート・ワッペン作製	実習	実習室	専任
22	9/16(水)	2限目	ペープサート・ワッペン作製	実習	実習室	専任
23	9/16(水)	3限目	ペープサート・ワッペン作製	実習	実習室	専任
24	9/25(金)	1限目	ペープサート作製・原稿作成	実習	実習室	専任
25	9/25(金)	2限目	ペープサート作製・原稿作成	実習	実習室	専任
26	10/19(月)	3限目	ペープサート作製・原稿作成	実習	実習室	専任
27	10/22(木)	1限目	ペープサート作製・原稿作成	実習	実習室	専任
28	11/22(木)	2限目	ペープサート作製・原稿作成	実習	実習室	専任
29	11/ 5(木)	2限目	各班練習	実習	各教室	専任
30	11/12(木)	1限目	各班練習	実習	各教室	専任
	11/24(火)	3・4限目	幼稚園実習リハーサル	試験	ホール	専任
31	11/25(水)	4限目	幼稚園実習確認	実習	各教室	専任
32						
33	12/ 1(火)	1・2・3限目	幼稚園実習(かなりや幼稚園)	実習	幼稚園	専任
34						

《科目》

診療補助Ⅱ・実習Ⅱ

《分野・学科》 専門分野 歯科診療補助論

《担当講師》 教務・専任教員

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 臨床実習事前実習、総合診療実習を行い、診療の流れをより詳しく修得する

《方法》 講義：16回 実習：31回 試験：4回

《時期》 第2学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科診療補助論」

《評価方法》 登院筆記試験・進級試験・登院実技試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/27(月)	3限目	登院実技試験 セメント練和 説明	実習	実習室	専任
2	5/ 1(金)	4限目	セメント練和 練習	実習	実習室	専任
3	5/11(月)	1限目	セメント練和 練習	実習	実習室	専任
4	5/18(月)	4限目	セメント練和 練習	実習	実習室	専任
	6/ 1(月)	1・2限目	登院実技試験 セメント練和	試験	実習室	専任
5	6/ 2(火)	2限目	登院実技試験 印象採得 説明	講義	教室	専任
6	6/ 8(月)	1・2限目	印象採得 練習	実習	診療室	専任
7						
8	6/15(月)	1・2限目	印象採得 練習	実習	診療室	専任
9						
10	6/22(月)	2限目	1・2年生 第1回合同実習説明	講義	教室	専任
11	6/29(月)	1・2限目	1・2年生 第1回合同実習	実習	実習室	専任
12						
13	7/ 6(月)	1・2限目	印象採得 試験形式練習	実習	診療室	専任
14						
15	7/ 6(月)	3・4限目	印象採得 試験形式練習	実習	診療室	専任
16						
17	7/10(金)	1・2限目	印象採得 試験形式練習	実習	診療室	専任
18						
	7/16(木)	1・2・3限目	登院実技試験 全額印象採得	試験	診療室	専任
	9/ 2(水)	1・2限目	登院筆記試験	試験	教室	専任
19	9/24(木)	1限目	1・2年生 第2回合同実習説明・準備	講義	実習室	専任
20	9/29(火)	1・2限目	1・2年生 第2回合同実習	実習	実習室	専任
21	9/29(火)	3限目	歯科臨床と診療補助①	講義	教室	専任
22	10/ 8(木)	3限目	歯科臨床と診療補助②	講義	教室	専任
23	10/15(木)	1限目	歯科臨床と診療補助③	講義	教室	専任
24	10/19(月)	2限目	歯科臨床と診療補助④	講義	教室	専任
25	10/22(木)	4限目	歯科臨床と診療補助⑤	講義	教室	専任
26	11/ 5(木)	4限目	総合診療実習説明・実習準備	講義	教室	専任
27	11/11(水)	1・2限目	総合診療実習 練習	実習	診療室	専任
28						
29	11/24(火)	1限目	歯科臨床と診療補助⑥	講義	教室	専任
30	11/25(水)	1・2限目	総合診療実習 練習	実習	診療室	専任
31						
32	11/25(水)	3限目	歯科臨床と診療補助⑦	実習	診療室	専任
33	12/ 2(水)	1・2限目	総合診療実習 練習	実習	診療室	専任
34						
35	12/ 2(水)	3・4限目	"	実習	診療室	専任
36						
37	1/ 8(金)	2限目	総合診療実習 準備・確認	講義	教室	専任
38	1/14(木)	3・4限目	総合診療実習 ①②班	実習	診療室	教務 専任
39						
40	1/20(水)	3・4限目	総合診療実習 ②③班	実習	診療室	教務 専任
41						
	1/21(木)	3・4限目	総合診療実習 ③④班	実習	診療室	教務 専任
	1/28(木)	3・4限目	総合診療実習 ④①班	実習	診療室	教務 専任
42	1/29(金)	1・2限目	総合診療実習 写真整理・トリミング	実習	診療室	専任
43						
44	1/29(金)	3・4限目	"	実習	実習室	専任
45						
46	2/12(金)	1・2限目	総合診療実習 患者分析・考察・まとめ	講義	教室	専任
47						
	2/26(金)	1・2限目	進級試験	試験	教室	専任

《科目》

医療保険事務

《分野・学科》 専門分野 歯科診療補助論

《担当講師》 吉沢 律子・アイデンス

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 医療保険の仕組みを学び、必要な保険請求事務の知識を修得する

《方法》 講義：9回 試験：1回

《時期》 第2学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 プリント

《評価方法》 試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月25日(金) 3限目	吉沢 律子	医療保険制度の概要	医療保険の仕組みと種類
2	9月30日(水) 4限目		治療の流れと 診療報酬 ①	基本診療料・初期う蝕治療について 演習
3	10月8日(木) 4限目		治療の流れと 診療報酬 ②	歯髄炎・根尖性歯周炎について 演習
4	10月29日(木) 1限目		治療の流れと 診療報酬 ③	外科処置・投薬について 演習
5	11月4日(水) 1限目		治療の流れと 診療報酬 ④	欠損補綴について 演習
6	11月5日(木) 1限目		治療の流れと 診療報酬 ⑤	歯周疾患について 演習
7	11月12日(木) 2限目		治療の流れと 診療報酬 ⑥	周術期口腔機能管理と在宅医療
8・9	2月19日(金) 3・4限目	アイデンス	レセコンの基礎	レセコンの基本操作
	11月18日(水) 2限目		試験	

《科目》

介護技術

《分野・学科》 基礎分野 科学的思考の基礎 人間と生活
 《担当講師》 南 智子・土居河 喜美子
 《目的》 介護の概念や原則を踏まえて、自立支援を理解しながら、介護技術の基本を学ぶ
 《方法》 講義（実技）：19回 試験：1回
 《時期》 第2学年 前期
 《時間》 下記の表を参照
 《使用教科書・教材》 共栄出版株式会社 千葉 典子 「介護概論・基本介護技術」
 《評価方法》 介護技術筆記・実技試験と授業の態度・プリントの書き込み等にて評価する
 筆記試験は60点以上を合格とする

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	クラス	項目	授業内容・到達目標
1	4月10日(金) 1限目	A. B	講義 介護の概念 ICFの考え方	自立支援・個人の尊厳・効率性・的確な介護について
2	4月10日(金) 2限目	A. B	講義 コミュニケーション	コミュニケーションの基本技術と介護者の役割
3・4	4月24日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 高齢者・障害者の理解 実技 介護者の安全 安楽の介護	高齢者・障害者の基本的理解 腰痛予防と感染対策 睡眠の援助・電法
5・6	5月1日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 姿勢とボディメカニクス 実技 寝床の整え方	人体各部、関節の名称・姿勢の名称・体位変換の目的・褥瘡について ベットメイキングの基本
7・8	5月15日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 介護過程・記録 実 ペッド上での体位変換	介護活動の場における介護の展開 仰臥位から立位までの体位変換の方法
9・10	5月22日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 清潔・入浴の介護 実 更衣(着脱)の介護	清潔・入浴の意義と留意点 座位・仰臥位での更衣の方法
11・12	5月29日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 食事の介護 実 食事の介護 土居河講師	食事の意義・嚥下障害について 片麻痺・仰臥位・座位での食事の介護
13	6月5日(金) 1限目	A. B	講義 ターミナルケア	末期にある利用者の理解と介護
14・15	6月12日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 排泄の介護 実 排泄の介護	排泄のメカニズム、失禁について 福祉用具を活用した排泄の介護
16・17	6月19日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 健康障害時の介護 実 緊急時の介護	受診時の介護・家庭看護対応の技術、観察・バイタルサイン 事故時の対応と応急手当
18・19	7月3日(金) 1・2限目	A. B B. A	講義 認知症の理解 実技 実技まとめ	認知症高齢者の基本的理解と介護実技まとめ
	7月9日(木) 2限目		筆記試験	

受講上の注意：実習は、動きやすい服の着用、長い髪は結髪、装飾品は外してください。
 実習で必要な物品は各自持参していただくこともあります。

《科目》

隣接医学

《分野・学科》 専門基礎分野 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

《担当講師》 福山市医師会会員

《目的》 歯科医学の基礎知識として必要かつ十分な医学的知識を習得する

《方法》 講義：8回

《時期》 第3学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》

《評価方法》 講義出席状況・授業態度にて評価

《授業内容・到達目標》 疾患を理解し、臨床に対応できる知識を習得する

授業回数	月日	項目	担当
1	9月9日(水) 3限目	呼吸器疾患	有木 則文 (有木医院)
2	9月10日(木) 4限目	小児疾患	木村眞人 (木村小児科)
3	9月28日(月) 2限目	糖尿病	平田 教至 (中国中央病院)
4	10月8日(木) 4限目	麻酔科	小山祐介 (福山市民病院)
5	10月15日(木) 3限目	認知症	日笠 哲 (蔵王病院)
6	10月15日(木) 4限目	循環器疾患	丸山 典良 (まるやまホームクリニック)
7	11月12日(木) 4限目	消化器疾患	中川 浩一
8	11月26日(木) 4限目	消化器疾患	小島 敏嗣 (こばたけ医院)

《科目》

予防的歯石除去法Ⅲ

《分野・学科》 専門分野 歯科予防処置論

《担当講師》 専任教員

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 歯科衛生士の三大業務「歯科予防処置」の中の歯石除去法・技術を修得する

《方法》 講義：8回 実習：15回

《時期》 第3学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・保健指導論」

《評価方法》 実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/15(水)	1限目	歯面研磨の目的と手法	講義	教室	専任
2	4/23(木)	1・2限目	全顎歯面研磨実習	実習	診療室	専任
3						
4		3・4限目	全顎歯面研磨実習	実習	診療室	専任
5						
6	4/24(金)	1・2限目	全顎歯面研磨実習	実習	診療室	専任
7						
8		3・5限目	全顎歯面研磨実習	実習	診療室	専任
9						
10	5/15(金)	1限目	総合診療実習準備・確認	講義	実習室	専任
11	5/21(木)	3限目	総合診療実習について詳細説明	講義	教室	専任
12	7/1(水)	1・2限目	総合診療実習資料・原稿手直し	講義	教室	専任
13						
14	7/8(水)	3限目	総合診療実習資料・原稿手直し	講義	教室	専任
15	7/17(金)	1~4限目	総合診療実習資料・原稿手直し	講義	教室	専任
16						
17						
18						
19	9/9(水)	1・2限目	総合診療実習資料・原稿手直し	講義	教室	専任
20						
21	9/11(金)	1限目	総合診療実習資料・原稿手直し	講義	教室	専任
22	9/11(月)	3限目	資料作成まとめ	講義	教室	専任
23	9/25(金)	1限目	資料作成まとめ	講義	教室	専任

《科 目》	歯科保健指導Ⅲ
-------	---------

《分野・学科》 専門分野 歯科保健指導論

《担当講師》 専任教員

《実務経験》 歯科衛生士業務に従事

《目的》 対象者に応じた集団歯科保健指導を行うために必要な知識・技能を修得し、また、個人に対応した歯科保健指導を歯科衛生過程の流れに沿って実践することを目的とする

《方法》 講義:12回 実習:15回 試験:1回

《時期》 第3学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科予防処置論・歯科保健指導論」

《評価方法》 実技試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/ 8(水)	2・3限目	小学校実習について	講義	教室	専任
2			原稿作成・指導用媒体作製	講義	実習室	専任
3	4/15(水)	2・3・4限目	原稿・媒体完成・再校正・手直し	講義	実習室	専任
4				講義	実習室	専任
5				実習	実習室	専任
6	4/30(木)	2限目	原稿・媒体完成・再校正・手直し	実習	実習室	専任
7	4/30(木)	4限目	原稿・媒体完成・再校正・手直し	実習	実習室	専任
8	5/ 7(木)	2・3・3限目	原稿・媒体完成・再校正・手直し	実習	実習室	専任
9			指導用物品作成・原稿合わせ	実習	実習室	専任
10			指導用物品作成・原稿合わせ	実習	実習室	専任
11	5/14(木)	2・3・4限目	指導用物品作成・原稿合わせ	実習	実習室	専任
12			最終仕上げ・リハーサル練習	実習	実習室	専任
13			”	実習	実習室	専任
14	5/15(金)	2限目	小学校実習リハーサル 確認	講義	教室	専任
//	5/15(金)	3・4限目	小学校実習 リハーサル	試験	各試験会場	専任
15	5/21(木)	1・2限目	原稿・媒体 手直し修正	実習	実習室	専任
16						
17	5/29(金)	2限目	小学校実習準備	講義	実習室	専任
18		3・4限目	小学校実習(緑丘小学校)	実習	小学校	専任
19						
20	9/10(木)	2限目	歯科保健指導 国家試験補講 ①総論	講義	教室	専任
21	9/29(火)	1限目	歯科保健指導 国家試験補講 ②情報収集	講義	教室	専任
22	9/30(水)	1限目	歯科保健指導 国家試験補講 ③口腔衛生管理	講義	教室	専任
23	9/30(水)	2限目	歯科保健指導 国家試験補講 ④生活指導習慣	講義	教室	専任
24	10/ 6(火)	2限目	歯科保健指導 国家試験補講 ⑤食生活指導	講義	教室	専任
25	10/ 7(水)	3限目	歯科保健指導 国家試験補講 ⑥口腔機能管理	講義	教室	専任
26	10/27(火)	1限目	歯科保健指導 国家試験補講 ⑦健康教育	講義	教室	専任
27	11/10(火)	2限目	歯科保健指導 国家試験補講 ⑧まとめ確認	講義	教室	専任

《科目》

診療補助Ⅲ・実習Ⅲ

《分野・学科》 専門分野 歯科診療補助論

《担当講師》 門利哲也・森功一郎・教務・専任教員

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 臨床実習事前実習、総合診療実習を行い、診療の流れをより詳しく修得する

《方法》 講義：20回 実習：16回 試験：6回

《時期》 第3学年

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ 「第2版 歯科診療補助論」

《評価方法》 総合診療発表試験・実技・レポートの成績・講義、実習態度を総合して評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日(曜)	時間	授業内容・到達目標	方法	場所	担当
1	4/30(木)	1限目	総合診療実習 説明	講義	教室	専任
2	5/14(木)	1限目	総合診療実習 説明・準備	実習	実習室	専任
3	5/28(木)	1・2限目	総合診療実習準備①・②班	〃	〃	専任
4						
5	5/28(木)	3・4限目	総合診療実習①・②班	〃	〃	教務 専任
6						
7	6/ 3(水)	1・2限目	総合診療実習準備②・③班	〃	〃	専任
8						
9	6/ 3(水)	3・4限目	総合診療実習②・③班	〃	〃	教務 専任
10						
	6/18(木)	1・2限目	総合診療実習準備②・③班	〃	〃	専任
	6/25(木)	3・4限目	総合診療実習②・③班	〃	〃	教務 専任
11	7/ 1(水)	3限目	総合診療実習 まとめ	講義	実習室	専任
12	7/31(金)	1限目	総合診療実習 原稿作成説明	講義	教室	専任
13	9/24(木)	2限目	ゼノ施設実習 オリエンテーション	〃	教室	ゼノ講師
14	9/28(月)	1限目	ゼノ施設実習 説明・準備	〃	実習室	専任
15	9/28(月)	3・4限目	総合診療実習 パワーポイント作成	〃	〃	〃
16						
17	9/29(火)	3・4限目	ゼノ施設実習①	実習	ゼノ学園	門利 森 専任
18						
19	9/30(水)	3限目	施設実習カルテの記入・手直し	講義	実習室	専任
20	10/ 1(木)	1・2限目	総合診療実習 発表原稿作成	〃	〃	〃
21						
22	10/ 2(金)	1・2・3限目	総合診療実習・パワーポイント作成	〃	実習室	専任
23						
24	10/ 6(火)	1限目	障がい者施設準備・説明	〃	実習室	〃
25						
26	10/ 6(火)	3・4限目	ゼノ施設実習②	実習	ゼノ学園	門利 森 専任
27						
28	10/ 7(水)	1・2限目	施設実習刷掃指導・片付け	〃	実習室	〃
29						
30	10/ 8(木)	3限目	パワーポイント手直し	〃	〃	〃
31	10/ 9(金)	3・4限目	総合診療実習 パワーポイント・原稿作成	講義	教室	専任
32						
33	10/14(水)	1・2限目	総合診療実習 パワーポイント・原稿作成	〃	〃	〃
34						
35	10/15(木)	1・2限目	総合診療実習 パワーポイント発表リハーサル	実習	教室	専任
36	10/21(水)	1・2限目	総合診療実習 発表	試験	ホール	教務 専任
			3・4限目	総合診療実習 発表	〃	〃
	10/22(木)	1・2限目	総合診療実習 発表	〃	〃	〃
			3・4限目	総合診療実習 発表	〃	〃

《科目》

院内感染・救急処置

《分野・学科》 選択必須分野

《担当講師》 高橋 みどり・柏谷 信博・渡辺 賢一

《目的》 感染症の及ぼす影響、及び病原性微生物の感染予防について理解する
救急時に的確に判断し、迅速な対応を行う為の正確な処置を学ぶ

《方法》 講義(実習)：8回 試験：1回

《時期》 3学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版「感染予防スタンダード」・医歯薬出版「歯科救急処置と蘇生法」

《評価方法》 授業態度・試験の成績にて評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	担当講師	項目	授業内容・到達目標
1	9月10日(木) 1限目	高橋 みどり	感染予防の基礎知識	・感染成立の輪 ・標準予防策
2	9月11日(金) 2限目	柏谷 信博	歯科衛生士に必要な救急処置①	①血管迷走神経反射の症状と処置 ②異物の食道への誤嚥と気道への誤嚥時の症状と処置 ③過喚気症候群発作時の症状と処置 ④局所麻酔過敏症状への処置
3	9月24日(木) 1限目	高橋 みどり	感染予防の基礎知識	・洗浄、消毒、滅菌
4	9月25日(金) 2限目	柏谷 信博	歯科衛生士に必要な救急処置②	①高血圧症のある患者の血圧上昇時の偶発症と症状・処置 ②狭心症・心筋梗塞の患者の管理と救急処置 ③その他(特殊治療を受けている患者)の処置
5	10月8日(木) 1限目	高橋 みどり	感染予防の基礎知識	・血液媒介病原体対策(HBV、HCV、HIV)
6	10月8日(木) 2限目	高橋 みどり	実習	・手指衛生、個人防護具着脱の演習
7	11月9日(月) 1限目	渡辺 賢一	一次救命救急処置	・異常の早期発見 ・質の高い胸骨圧迫心臓マッサージ
8	11月9日(月) 2限目		同上	・応援を呼ぶ(救急車) ・AED
	11月17日(金) 2限目		試験	

《科目》

社会保険

《分野・学科》 選択必須分野 衛生行政・社会福祉・社会保険にかかわる、基本的事柄

《担当講師》 西谷 展

《実務経験》 歯科医師として診療に従事

《目的》 日本の社会保険の内容の把握

《方法》 講義：8回 試験：1回

《時期》 第3学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 医歯薬出版歯科衛生シリーズ 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2
保健・医療・福祉の制度」

《評価方法》 試験成績・受講評価

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	7月1日(水) 4限目	I II	I 社会保険の歴史 社会保険行政の組織 II わが国の社会保険制度の仕組み
2	7月8日(水) 4限目	III	III 医療保険の仕組みの把握
3	9月9日(水) 4限目	IV	IV 年金制度の成り立ちと仕組み
4	9月30日(水) 4限目	V	V 雇用保険・労災保険制度の把握
5	10月7日(水) 4限目	VI①	VI 介護保険制度の仕組みの把握
6	10月14日(水) 4限目	VI②	VI 介護保険制度の仕組みの把握
7	10月28日(水) 4限目	VII	VII 社会保障制度
8	11月4日(水) 4限目	VIII	VIII カルテの書き方・レセプトの仕組みの把握
	11月24日(火) 2限目	試 験	

《科目》

歯科総合

《分野・学科》 選択必須分野

《担当講師》 各科目担当講師

《目的》 基礎、専門各分野での総合的学力の習得と確認

《方法》 講義：39回 試験：1回

《時期》 第3学年 後期

《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》

《評価方法》 卒業試験

《授業内容・到達目標》

授業回数	月日	項目	講師
1	10月13日(火) 1限目	口・外	新木 恒猪
2	10月13日(火) 2限目	口・外	木村 義昭
3	10月13日(火) 3限目	材料	喜田 剛介
4	10月13日(火) 4限目	歯牙解	志田原 早苗
5	10月14日(水) 3限目	薬理	田中 宏明
6	10月27日(火) 3限目	補綴	太田 吉宣
7	10月27日(火) 4限目	補綴	岡本 信
8	10月28日(水) 1限目	微生物	矢野 暢人
9	10月28日(水) 2限目	微生物	佐藤 連造
10	10月28日(水) 3限目	歯内	藤井 理史
11	11月4日(水) 1限目	生理	番匠谷 研吾
12	11月4日(水) 2限目	病理	越智 大輔
13	11月4日(水) 3限目	組・発	森数 祐輔
14	11月5日(木) 1限目	生化学	金田 俊彦
15	11月5日(木) 3限目	解剖	櫻田 篤
16	11月5日(木) 4限目	予・処	小川 由希子
17	11月6日(金) 3限目	衛・統	横山 晴洋
18	11月6日(金) 4限目	薬理	上原 康嗣
19	11月9日(月) 3限目	口・衛Ⅱ	下江 正幸

授業回数	月日	項目	講師
20	11月9日(月) 4限目	公・衛	武田 尊浩
21	11月10日(火) 1限目	口・病	中島 健吾
22	11月10日(火) 3限目	口・衛Ⅰ	鳥枝 剛士
23	11月11日(水) 1限目	口・解	藤田 康晴
24	11月11日(水) 2限目	矯正	小川 晴也
25	11月11日(水) 3限目	障がい	門利 哲也
26	11月12日(木) 3限目	診・補	平田 一成
27	11月17日(火) 3限目	高齢者	太田 吉宣
28	11月18日(水) 3限目	解剖	田中 尚代
29	11月18日(水) 4限目	診・補	卜部 雅嗣
30	11月19日(木) 3限目	歯周	佐藤 裕紀
31	11月19日(木) 4限目	歯周	寺島 祥充
32	11月20日(金) 3限目	予・処	松山 繁樹
33	11月24日(火) 3限目	X線	重森 俊文
34	11月25日(水) 1限目	衛・社	林 宏昌
35	11月25日(水) 2限目	診・補	日野 泰樹
36	11月25日(水) 3限目	小児	高橋 昌司
37	11月25日(水) 4限目	保・修	前田 かや
38	11月26日(木) 3限目	口・生	古寺 伸寛
39	11月30日(月) 3限目	衛生	奥村 昌泰

《科 目》

生 花

《分野・学科》 選択必須分野

《担当講師》 小川 智子

《目 的》 社会人として幅広い教養と、豊かな人格形成のため、生花を学ぶ

《方 法》 講義：8回

《時 期》 第3学年

《時 間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》 花・剣山・プリント

《評価方法》 試験の成績と授業態度について評価判定

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	項 目	授 業 内 容 ・ 到 達 目 標
1	7月31日(金) 2限目	講義	いけばなとは
2	9月10日(木) 3限目	講義	いけばなの基本
3	9月24日(木) 3限目	講義	いけばなの歴史
4	9月29日(火) 2限目	講義	五節句といけばな
5	10月27日(火) 2限目	講義	秋の七草について
6	11月6日(金) 2限目	講義	日本の自然といけばな
7	11月12日(木) 2限目	講義	四季のいけばな
8	11月26日(木) 2限目	講義	行事のいけばな

《科 目》

一般教養

《分野・学科》 選択必須分野
 《担当講師》 各項目担当講師
 《目的》 様々な分野での教養を身につける
 《方法》 講義：9回
 《時期》 第1～3年 前期/後期
 《時間》 以下の表を参照

《使用教科書・教材》

《評価方法》 授業態度・出席状況による

《授業内容・到達目標》

授業回数	月 日	担 当 講 師	項 目	対象学年
1	5月25日(月) 2限目	福山年金事務所	年金	2年
2	6月22日(月) 2限目	広島県警察本部	サイバー犯罪	1年
3	6月30日(火) 2限目	福山東警察署	防犯	1年
4	9月24日(木) 3限目	ヘイリオンジャパン	義歯・歯磨剤	2年
5・6	9月25日(金) 3・4限目	中島 真弓	就活メイク講座	3年
7	11月20日(金) 2限目	重森美由紀	食生活概論	3年
8	1月8日(金) 2限目	重森美由紀	ケア コミュニケーション	1年
9	12月14日(月) 1限目	福山市民病院	歯科口腔外科	3年

令和8年度時間割

NO.2

月	6月							7月							8月												
	1年		2年		3年			学年		1年		2年		3年			学年		1年		2年		3年				
日	9:00~10:30	10:45~12:15	1:00~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	時間	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	日	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	
1月	教務	総合①	臨・概④	倫理④	倫理④	総合④	総合④	総合④	1	水	口・解10	総合④	総合④	口・解10	総合④	総合④	総合④	1	水	口・解10	総合④	総合④	総合④	口・解10	総合④	総合④	総合④
2月	栄養7	手話7	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	2	木	栄養7	手話7	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	2	木	栄養7	手話7	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6
3月	口・解6	DH概4	微生物6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	3	金	口・解6	DH概4	微生物6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	3	金	口・解6	DH概4	微生物6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6
4月	化学7	保健⑤	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	4	土	化学7	保健⑤	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	4	土	化学7	保健⑤	口・生7	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6
5月	生物7	食・概7	哲学3	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	5	日	生物7	食・概7	哲学3	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	5	日	生物7	食・概7	哲学3	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6	歯牙解6
6月									6	月								6	月								
7月									7	火								7	火								
8月	教務	探検②	臨・概⑤	倫理5	倫理5	倫理5	倫理5	倫理5	8	水	教務	探検②	臨・概⑤	倫理5	倫理5	倫理5	倫理5	8	水	教務	探検②	臨・概⑤	倫理5	倫理5	倫理5	倫理5	倫理5
9月	栄養8	手話⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	9	木	栄養8	手話⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	9	木	栄養8	手話⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7
10月	口・解7	除石1	微生物7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	10	金	口・解7	除石1	微生物7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	10	金	口・解7	除石1	微生物7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7
11月	総合⑧	食・概⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	11	土	総合⑧	食・概⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	11	土	総合⑧	食・概⑧	口・生⑧	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7
12月	生物⑧	食・概⑧	哲学4	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	12	日	生物⑧	食・概⑧	哲学4	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	12	日	生物⑧	食・概⑧	哲学4	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7	歯牙解7
13月									13	月								13	月								
14日									14	火								14	火								
15月	生理6	診・補9	臨・概8	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	15	水	生理6	診・補9	臨・概8	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	15	水	生理6	診・補9	臨・概8	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	
16月	栄養9	DH概5	病理5	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	16	木	栄養9	DH概5	病理5	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	16	木	栄養9	DH概5	病理5	倫理6	倫理6	倫理6	倫理6	
17月	口・解8	DH概6	微生物8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	17	金	口・解8	DH概6	微生物8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	17	金	口・解8	DH概6	微生物8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8
18月	化学⑨	除石2	微生物11	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	18	土	化学⑨	除石2	微生物11	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	18	土	化学⑨	除石2	微生物11	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8	歯牙解8
19月									19	日								19	日								
20月									20	月								20	月								
21日									21	火								21	火								
22月	生理7	サイバー	臨・概9	倫理7	倫理7	倫理7	倫理7	倫理7	22	水	生理7	サイバー	臨・概9	倫理7	倫理7	倫理7	倫理7	22	水	生理7	サイバー	臨・概9	倫理7	倫理7	倫理7	倫理7	
23月	教務	手話⑨	診・補11	DH概7	DH概7	DH概7	DH概7	DH概7	23	木	教務	手話⑨	診・補11	DH概7	DH概7	DH概7	DH概7	23	木	教務	手話⑨	診・補11	DH概7	DH概7	DH概7	DH概7	DH概7
24月	口・解9	総合⑩	微生物⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	24	金	口・解9	総合⑩	微生物⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	24	金	口・解9	総合⑩	微生物⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	
25月	教務	生物⑩	微生物12	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	25	土	教務	生物⑩	微生物12	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	25	土	教務	生物⑩	微生物12	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	歯牙解⑩	
26月									26	日								26	日								
27月									27	月								27	月								
28日									28	火								28	火								
29月	診・実合同15	臨・概10	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	29	水	診・実合同15	臨・概10	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	29	水	診・実合同15	臨・概10	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	DH概8	
30月	栄養⑩	防犯	病理6	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	30	木	栄養⑩	防犯	病理6	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	30	木	栄養⑩	防犯	病理6	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	補綴実習⑩	
									31	金								31	金								

令和8年度時間割 NO.3

月	8月							9月								
	1年		2年		3年			1年		2年		3年				
学年	9:00~10:30	10:45~12:15	1:00~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
1 土									勤務	保・指9	組・第1	教務	衛・統1	除石27	前期試験対策	夏期休業
2 日									除・実5	解割15	解割15	解割15	解割15	解割15	解割15	解割15
3 月									除・実6	口・第II1	口・第II1	口・第II1	口・第II1	口・第II1	口・第II1	口・第II1
4 火									除・実6	試験勉強	試験勉強	試験勉強	試験勉強	試験勉強	試験勉強	試験勉強
5 水																
6 木																
7 金																
8 土																
9 日																
10 月																
11 火																
12 水																
13 木																
14 金																
15 土																
16 日																
17 月																
18 火																
19 水																
20 木																
21 金																
22 土																
23 日																
24 月																
25 火																
26 水																
27 木																
28 金																
29 土																
30 日																
31 月																

令和8年度時間割 NO.6

月	2月			3月			月	学年	1年			2年			3年			時間	日			
	9:00~10:30	10:45~12:15	1:00~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15			1:00~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	1:00~2:30	2:45~4:15	9:00~10:30	10:45~12:15	1:00~2:30			2:45~4:15		
1	除石実習③	保・体5	保・体6	〇	〇	〇	1	月	後期試験	第10回模擬試験	第10回模擬試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
2	英語④	歯材7	実習準備	〇	〇	〇	2	火	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
3	心理5	心理6	心理7	〇	〇	〇	3	水	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
4	心理5	心理6	心理7	〇	〇	〇	4	木	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
5	教務	教務	教務	〇	〇	〇	5	金	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
6							6	土										3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
7							7	日										3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
8	教務	保・体7	保・体8	〇	〇	〇	8	月	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
9	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	9	火	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
10	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	10	水	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
11	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	11	木	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
12	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	12	金	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
13	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	13	土	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
14	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	14	日	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
15	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	15	月	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
16	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	16	火	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
17	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	17	水	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
18	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	18	木	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
19	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	19	金	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
20	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	20	土	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
21	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	21	日	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
22	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	22	月	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
23	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	23	火	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
24	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	24	水	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
25	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	25	木	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
26	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	26	金	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
27	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	27	土	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
28	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	28	日	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
29	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	29	月	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
30	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	30	火	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15
31	教務	英語④	歯材8	〇	〇	〇	31	水	後期試験	後期試験	後期試験	〇	〇	〇	〇	〇	〇	3年	10:45~11:00	11:00~12:15	12:15~2:30	2:45~4:15